

(様式第 10)

番 号
平成 27 年 10 月 2 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 日本医科大学
理事長 赫 彰郎 (印)

日本医科大学付属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5
氏 名	学校法人 日本医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

日本医科大学付属病院

3 所在の場所

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5	電話 (03) 3822 - 2131
--------------------------	-----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 循環器内科 2 神経内科 3 腎臓内科 4 血液内科 5 消化器・肝臓内科	
6 内分泌代謝内科 7 呼吸器内科 8 老年内科 9 リウマチ科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 内分泌外科 3 心臓血管外科 4 呼吸器外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑬麻酔科 ⑭救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 2 3 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 形成外科 2 漢方内科 3 病理診断科 4 リハビリテーション科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
27床	床	床	床	870床	897床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年 10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	589人	158人	610.4人	看 護 補 助 者	87人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	2人	0人	2.0人	理 学 療 法 士	9人	臨 床 検 査 技 師	107人
薬 剤 師	67人	1人	67.0人	作 業 療 法 士	3人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	15人	0人	15.0人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	1人
看 護 師	1,036人	3人	1,038.0人	臨 床 工 学 士	30人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	8人
准 看 護 師	1人	0人	1.0人	栄 養 士	2人	そ の 他 の 技 術 員	16人
歯 科 衛 生 士	2人	0人	2.0人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	160人
管 理 栄 養 士	8人	0人	8.0人	診 療 放 射 線 技 師	67人	そ の 他 の 職 員	37人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年 10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	28人	眼科専門医	9人
外科専門医	54人	耳鼻咽喉科専門医	12人
精神科専門医	8人	放射線科専門医	16人
小児科専門医	19人	脳神経外科専門医	10人
皮膚科専門医	7人	整形外科専門医	14人
泌尿器科専門医	12人	麻酔科専門医	12人
産婦人科専門医	17人	救急科専門医	20人
		合 計	237人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	749.0人	0人	749.0人
1日当たり平均外来患者数	1,891.9人	0人	1,891.9人
1日当たり平均調剤数	7,928剤		
必要医師数	188.2人		
必要歯科医師数	0人		
必要薬剤師数	25人		
必要(准)看護師数	438人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室及びSICU, SHCU	2,429.99 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	56床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 [移動式の場合] 台数		119.078m ² 台	病床数	6床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 共用する室名	32.43m ²			
化学検査室	479.81m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 検体前処理分注機、免疫化学分析装置、血液凝固測定機、尿定性測定機等			
細菌検査室	105.37m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液培養装置、抗酸菌液体培養装置、安全キャビネット等			
病理検査室	400.13m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、凍結切片作成装置、低温フリーザー等			
病理解剖室	101.09m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 感染対策解剖台、遺体冷蔵庫、肉眼撮影装置等			
研究室	1503.34m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 病理組織学標本作製装置、細胞培養装置、オートクレーブ装置			
講義室	623.67m ²	鉄筋コンクリート	室数	4室	収容定員	620人
図書室	2524.67m ²	鉄筋コンクリート	室数	17室	蔵書数	68,000 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	76.2%	逆紹介率	47.7%
算出根拠	A: 紹介患者の数	17,960人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14,628人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	5,409人	
	D: 初診の患者の数	30,650人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	脳梗塞超急性期血管内治療	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要 脳梗塞発症後の超急性期にカテーテルを用いて血栓回収を行う。			
医療技術名	慢性期頸動脈ステント留置術	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 慢性期脳梗塞患者で内頸動脈狭窄部位にカテーテルを用いてステント留置を行う。			
医療技術名	修正型通電療法	取扱患者数	400人
当該医療技術の概要 全身麻酔下でパルスは治療器を用いて両側額部に貼った電極シールから電流を通電することで脳神経細胞を刺激し、うつ病や緊張病等の症状を改善させる治療法。当精神神経科は都内でも有数の治療実績があり、中高年の身体合併症のある患者に積極的に使用し、高い改善率を示している。			
医療技術名	内視鏡下軽鼻下垂体手術	取扱患者数	98人
当該医療技術の概要 High Vision内視鏡を用いた、下垂体腫瘍の手術。			
医療技術名	覚醒下開頭能腫瘍摘出術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 開頭術後に全身麻酔を醒まし、腫瘍の局在を確認する。			
医療技術名	広範囲頭蓋底腫瘍摘出再建	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 頭蓋から顔面に及ぶ治療困難な腫瘍を頭蓋底外科手技で摘出し、有茎皮弁にて再建する。			
医療技術名	撓骨動脈グラフトによる巨大脳動脈瘤手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 血行再建術を併用し治療困難な病変を根治する。			
医療技術名	腹腔鏡下子宮体がん根治術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 腹腔鏡下に子宮体がんの根治治療を行う。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	神経温存広汎子宮全摘術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 骨盤自律神経を温存し、膀胱機能を維持するように子宮頸症に対する広汎子宮全摘術を行う。			
医療技術名	深部子宮内膜症術(腹腔鏡下)	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 腹腔鏡下に系統的に深部子宮内膜症を取り除く高度な手術を行っている。			
医療技術名	経皮的心肺補助装置(PCPS)を用いた重症心疾患の循環補助	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 重症虚血性心疾患、劇症型心筋炎、重症不整脈による循環不全に対してPCPSを早期より導入して血行動態を保ちつつ原疾患の治療を行って救命率社会復帰率を高めている。			
医療技術名	経皮的心肺補助装置(PCPS)を用いた院外心停止症例の心肺脳蘇生	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 心停止が目撃され、かつ心原性心停止が強く疑われる院外心停止は一刻も早い脳循環を確保しつつ、自己心拍の再開を施行する必要がある。当施設では当該症例に積極的にPCPSを導入し、その後の集中治療も行い高い社会復帰率(約25%)を誇っている。			
医療技術名	重症頭部外傷例における脳低体温療法	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 重症頭部外傷では頭蓋内圧(ICP)制御が患者の生命予後を決定する最も大きな要因であるが、通常の治療法ではICP制御できない重症頭部外傷に体表冷却法を用いて34℃の脳低体温療法を導入して、多くの症例を救命している。			
医療技術名	ドクターカーシステムを用いた病院前の救急患者治療	取扱患者数	212人
当該医療技術の概要 東京消防庁と連携し重篤な救急患者に対して当院ドクターカーが救急現場に救急科専門医を派遣し、救急現場で治療を開始している。その結果、心肺停止症例の蘇生率はドクターカーシステムを使用しなかった場合と比較して蘇生率は約2倍高いことが実証されている。			
医療技術名	模型人工肺(ECMO)を用いたARDSの治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 救急領域においては、外傷、重症肺炎などからARDSをきたし、致命的となる症例がある。これらの症例では、酸素化を維持できず、多臓器不全となる。近年、このような症例へのECMOの適応が広がっている。当施設においても、ECMOをARDS症例に導入し、救命例を得ている。			
医療技術名	家族性動脈瘤の遺伝子診断	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 家族性動脈瘤を疑われる患者さんに対する遺伝子診断。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	低フォスファターゼ症の遺伝子診断	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 低フォスファターゼ症を疑われる患者さんに対する遺伝子診断。			
医療技術名	タクロリムス投与前におけるCYP3A5遺伝子診断	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 タクロリムス投与を検討する患者さんへの効果予測の為のCYP3A5遺伝子診断。			
医療技術名	恥骨固定式尿道スリング術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 前立腺全摘出後尿失禁に対しプロローリンメッシュを用いた尿道スリング術を施行中。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	34人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	55人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	65人	・原発性胆汁性肝硬変	43人
・全身性エリテマトーデス	88人	・重症急性膵炎	13人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	16人
・再生不良性貧血	35人	・混合性結合組織病	19人
・サルコイドーシス	123人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	11人	・特発性間質性肺炎	39人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	134人	・網膜色素変性症	17人
・特発性血小板減少性紫斑病	61人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	14人	・肺動脈性肺高血圧症	8人
・潰瘍性大腸炎	158人	・神経線維腫症	16人
・大動脈炎症候群	17人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	20人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	22人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4人
・脊髄小脳変性症	36人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	49人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	24人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	108人	・球脊髄性筋委縮症	2人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10人
・後縦靭帯骨化症	19人	・肥大型心筋症	28人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	19人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	4人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	75人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	14人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	221人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科外来診療環境体制加算	・特定集中治療室管理料
・特定機能病院入院基本料	・ハイケアユニット入院医療管理料
・臨床研修病院入院診療加算	・小児入院医療管理料2
・救急医療管理加算	・
・超急性期脳卒中加算	・
・妊産婦緊急搬送入院加算	・
・診療録管理体制加算	・
・急性期看護補助体制加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・
・総合評価加算	・
・病棟薬剤業務実施加算	・
・データ提出加算	・
・救命救急入院料	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・皮下連続式グルコース測定
・高度難聴指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・がん患者指導管理料	・神経学的検査
・外来緩和ケア管理料	・補聴器適合検査
・院内トリアージ実施料	・コンタクトレンズ検査料1
・外来リハビリテーション診療料	・小児食物アレルギー負荷検査
・外来放射線照射診療料	・内服・点滴誘発試験
・ニコチン依存症管理料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・地域連携診療計画管理料	・画像診断管理加算1
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算2
・がん治療連携管理料	・遠隔画像診断
・肝炎インターフェロン治療計画料	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料1	・外傷全身CT加算
・医療機器安全管理料2	・大腸CT撮影加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・心臓MRI撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・外来化学療法加算1
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・無菌製剤処理料
・検体検査管理加算(IV)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・遺伝カウンセリング加算	・脳血管疾患等リハビリテーション料(II)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・植込型心電図検査	・がん患者リハビリテーション料
・時間内歩行試験	・集団コミュニケーション療法料
・ヘッドアップティルト試験	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医療保護入院等診療料	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・輸血管管理料 I
・加刺刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び加刺刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・内視鏡手術用支援機器加算
・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・歯周組織再生誘導手術
・経皮的冠動脈形成術	・麻酔管理料(I)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・麻酔管理料(II)
・経皮的冠動脈ステント留置術	・放射線治療専任加算
・経皮的中隔心筋焼灼術	・外来放射線治療加算
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・外来放射線治療加算
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・1回線量増加加算
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・定位放射線治療
・補助人工心臓	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・経皮的大動脈遮断術	・病理診断管理加算
・ダメージコントロール手術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下肝切除術	・
・生体部分肝移植術	・
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高齢者うつ病の病態診断と治療評価のためのイメージングバイオマーカーの開発と実用化	大久保 善朗	精神神経科	21,718,000	補委 厚生労働省
脳卒中や心筋梗塞に関する医療連携構築に関する研究	横田 裕行	救急医学	9,500,000	補委 厚生労働省
脳死患者の家族に選択肢提示を行う際の対応のあり方に関する研究	横田 裕行	救急医学	6,472,000	補委 厚生労働省
治験の実施に関する研究 [エピレレノン]	浅井 邦也	循環器内科	500,000	補委 厚生労働省
診断基準・診療指針の改良と普及を目指した大動脈疾患など遺伝性血管難病に関する調査研究	坪 宏一	心臓血管集中治療科	300,000	補委 厚生労働省
びまん性肺疾患に関する調査研究	吾妻 安良太	呼吸器内科	500,000	補委 厚生労働省
原発性高脂血症に関する調査研究	稲垣 恭子	糖尿病・内分泌代謝内科	300,000	補委 厚生労働省
リアルタイム fMRI を用いたバイオフィードバック法を用いた統合失調症の認知リハビリテーション	大久保 善朗	精神神経科	50,000	補委 厚生労働省
高速シーケンサーを用いた包括的臨床遺伝子検査システムの構築	久保田 馨	化学療法科	800,000	補委 厚生労働省

小計 9 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
高速シーケンサーを用いた包括的臨床遺伝子検査システムの構築	弦間 昭彦	呼吸器内科学	800,000	補委	厚生労働省
遺伝性不整脈疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の作成に関する研究	清水 渉	循環器内科	3,000,000	補委	厚生労働省
生殖補助医療により出生した児の長期予後と技術の標準化に関する研究	竹下 俊行	女性診療科・産科	2,000,000	補委	厚生労働省
重症のインフルエンザによる肺炎・脳症の病態解析・診断・治療に関する研究	竹田 晋浩	外科系集中治療科	3,000,000	補委	厚生労働省
間脳下垂体機能障害における診療ガイドライン作成に関する研究	田原 重志	脳神経外科	400,000	補委	厚生労働省
慢性腎臓病の進行を促進する薬剤等による腎障害の早期診断法と治療法の開発	鶴岡 秀一	腎臓内科	1,000,000	補委	厚生労働省
先天性骨髄不全症の登録システムの構築と診断ガイドラインの作成に関する研究	山口 博樹	血液内科	500,000	補委	厚生労働省
救急医療体制の推進に関する研究	横田 裕行	救命救急科	130,000	補委	厚生労働省
効果的な熱中症予防のための医学的情報等の収集・評価体制構築に関する研究	横田 裕行	救命救急科	1,000,000	補委	厚生労働省
胎児・新生児骨系統疾患の診断と予後に関する研究	渡邊 淳	遺伝診療科	800,000	補委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業	桑名 正隆	リウマチ・膠原病内科	50,000	補委	厚生労働省

小計 11 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ベーチェット病に関する調査研究	桑名 正隆	リウマチ・膠原病内科	400,000	補 委	厚生労働省
免疫疾患における T 細胞サブセットの機能異常とその修復法の開発	桑名 正隆	リウマチ・膠原病内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
血液凝固異常症等に関する研究	桑名 正隆	リウマチ・膠原病内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
慢性腎不全診療最適化による新規透析導入減少実現のための診療システム構築に関する研究	鶴岡 秀一	腎臓内科	300,000	補 委	厚生労働省
重症好酸球性副鼻腔炎に対する新しい治療戦略	大久保 公裕	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	500,000	補 委	厚生労働省
ゲノム情報で規定される超高リスク群の診断と、層別化・個別化予防のためのエビデンス構築を目指した臨床観察研究	渡邊 淳	遺伝診療科	400,000	補 委	厚生労働省
小児造血器腫瘍（リンパ系腫瘍）に対する標準治療確立のための研究	前田 美穂	小児科	200,000	補 委	厚生労働省
発症時刻不明の脳梗塞患者に対する静注血栓溶解療法の適応拡大を目指した臨床研究	木村 和美	神経・脳血管内科	600,000	補 委	厚生労働省
強皮症の病態解明および革新的医薬品の開発	桑名 正隆	リウマチ・膠原病内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
川崎病の病因・病態解明に基づく新規治療・予防の開発	小川 俊一	小児科	100,000	補 委	厚生労働省

小計 10 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
びまん性肺疾患に対するエビデンスを構築する新規戦略的研究	吾妻 安良太	呼吸器内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
遺伝性心血管疾患における集中的な遺伝子解析及び原因究明に関する研究	清水 渉	循環器内科	1,500,000	補 委	厚生労働省
サポーターケアの提供体制と有用性評価の研究	久保田 馨	化学療法科	1,000,000	補 委	厚生労働省
個別化がん医療を目指した新規バイオマーカーの開発: 基盤整備と実用化	弦間 昭彦	呼吸器内科	1,250,000	補 委	厚生労働省
同種造血幹細胞移植治療確立のための基盤研究	山口 博樹	血液内科	500,000	補 委	厚生労働省
希少がんの発生に関与する遺伝要因の解明のための多施設共同研究体制の構築と関与遺伝子の探索	渡邊 淳	遺伝診療科	500,000	補 委	厚生労働省
標準化画像診断手順に従ったがん治療効果判定に関する研究	汲田 伸一郎	放射線科	800,000	補 委	厚生労働省
アミロイド分子イメージングによる中高年うつ病のアルツハイマー病前駆病変の検出	大久保 善朗	精神神経科	4,160,000	補 委	厚生労働省
虚血再灌流病態を伴う外傷性脳内血腫に対する術前急速導入脳低温療法の有効性の検討	横堀 将司	救命救急科	5,070,000	補 委	厚生労働省
アニオン型尿毒症性物質群を除去するハイブリッド型人工腎臓の開発	鶴岡 秀一	腎臓内科	1,040,000	補 委	厚生労働省
医学生に対する内視鏡外科トレーニングの教育効果の検討	野村 務	消化器外科	910,000	補 委	厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
HBV由来低分子RNAの機能解析と肝癌発癌メカニズムの解明	水口 義昭	消化器外科	1,560,000	補 委	厚生労働省
胃癌腹膜播種における間葉系幹細胞のホーミング分子機構とipsogene発現の解析	二神 生爾	消化器・肝臓内科	1,300,000	補 委	厚生労働省
薬剤送達システム徐放化多血小板血漿による血管再生治療	高木 元	循環器内科	1,170,000	補 委	厚生労働省
肺癌の特異的血清およびエクソソーム由来マイクロRNAの同定および個別化治療の応用	清家 正博	呼吸器内科	1,170,000	補 委	厚生労働省
EBウイルス由来機能性RNAを標的としたホジキンリンパ腫の実験的分子標的治療	和田 龍一	病理部	1,560,000	補 委	厚生労働省
CAP1遺伝子変異による急性骨髄性白血病の発症や再発機序の解明	山口 博樹	血液内科	650,000	補 委	厚生労働省
ドパミントランスポーターイメー징によるレビー小体型認知症バイオマーカーの研究	上田 諭	精神神経科	1,560,000	補 委	厚生労働省
MDCT/PETを用いた非侵襲的な冠動脈不安定プラーク検出に関する研究	汲田 伸一郎	放射線科	910,000	補 委	厚生労働省
臓器提供に関する本人、家族意思を反映し得る脳死判定補助検査に関する研究	横田 裕行	救命救急科	910,000	補 委	厚生労働省
小児生体肝移植後グラフト肝加齢変化のテロメア長とテロメラーゼ活性による解明	川野 陽一	消化器外科	1,820,000	補 委	厚生労働省

小計 11 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
末梢小型肺腺癌に対する次世代型気管支鏡治療の開発	白田 実男	呼吸器外科	1,040,000	補 委	厚生労働省
中枢型肺がんに対する凍結融解療法を用いた新規内視鏡治療の開発	石角 太一郎	呼吸器外科	1,560,000	補 委	厚生労働省
医工学を用いた微小外科手術技術評価と効果的トレーニング法の開発	森田 明夫	脳神経外科	1,040,000	補 委	厚生労働省
体内遺伝子発現変動からみた全身麻酔の機序解明	坂本 篤裕	麻酔科・ペインクリニック	1,690,000	補 委	厚生労働省
胎児免疫寛容における胎児抗原特異的CTLの挙動と胎盤のバリア機構の解明	市川 雅男	女性診療科・産科	1,430,000	補 委	厚生労働省
子宮頸管リモデリング制御におけるプロゲステロンシグナリングの作用分子機構	桑原 慶充	女性診療科・産科	1,560,000	補 委	厚生労働省
Urocortin 2の子宮内膜症における発現と病態への関与の解析	明樂 重夫	女性診療科・産科	1,430,000	補 委	厚生労働省
鼻副鼻腔炎を伴う鼻茸の発症機序と再発に関与するT細胞特にTreg細胞の新たな役割	Ruby Pawankar	小児科	1,170,000	補 委	厚生労働省
高浸透圧と自然免疫がドライアイに及ぼす影響と、それに基づく新たな予防・治療戦略	藤本 千明	眼科	1,950,000	補 委	厚生労働省
骨軟部組織損傷後の臓器傷害発生メカニズムの検討	塚本 剛志	救命救急科	1,690,000	補 委	厚生労働省
PETによる冠動脈ステント留置部位の炎症反応の非侵襲的評価	高野 仁司	循環器内科	2,210,000	補 委	厚生労働省

小計 11 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ドライバー遺伝子変異依存肺癌に対する finishing blow 治療に関する研究	弦間 昭彦	呼吸器内科	1,950,000	補 委	厚生労働省
特発性間質性肺炎合併肺癌の化学療法関連急性増悪予測バイオマーカーの探索的研究	峯岸 裕司	呼吸器内科	1,170,000	補 委	厚生労働省
ドパミントランスポーター PET による妄想の病態解明と客観的評価法の開発研究	舘野 周	精神神経科	1,170,000	補 委	厚生労働省
心房細動治療における心房間伝導調整の研究	坂本 俊一郎	心臓血管外科	1,820,000	補 委	厚生労働省
下垂体腺腫における Gremlin の発現と細胞内シグナルの解析に関する研究	吉田 大蔵	脳神経外科	2,470,000	補 委	厚生労働省
関節鏡視下色彩色差計測による関節軟骨評価法の開発	高井 信朗	整形外科・ リウマチ外科	1,690,000	補 委	厚生労働省
原因不明不育症における新規自己抗体とその標的抗原の同定	竹下 俊行	女性診療科・ 産科	1,560,000	補 委	厚生労働省
マイクロウェーブ照射による新しい脳損傷モデルの病態解析	布施 明	救命救急科	1,430,000	補 委	厚生労働省
マウス腎虚血再灌流障害モデルにおける Egr-1 の役割	新井 正徳	救命救急科	1,560,000	補 委	厚生労働省
急性腸間膜虚血の早期診断および救命率向上に向けた治療戦略の構築	金 史英	救命救急科	1,560,000	補 委	厚生労働省
ショック後腸管リンパ液生理活性および臓器障害に対する組織損傷の影響	増野 智彦	救命救急科	1,560,000	補 委	厚生労働省

小計 11 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
MRIによる非侵襲温度分布モニタリングを指標とした関節深部加温法の開発	高橋 謙治	整形外科・ リウマチ外科	1,560,000	補 委	厚生労働省
肺神経内分泌腫瘍の遺伝子変異・融合遺伝子の同定と新規治療標的バイオマーカーの開発	宮永 晃彦	呼吸器内科	2,600,000	補 委	厚生労働省
肺線維化病態におけるmTOR-SPARC経路の解明と新規バイオマーカーの探索	吾妻 安良太	呼吸器内科	1,950,000	補 委	厚生労働省
レヴィ小体病における脳機能の代償とアミロイド分布の関連に関する研究	三品 雅洋	神経・ 脳血管内科	2,600,000	補 委	厚生労働省
骨髄腫微小環境におけるSLAMファミリー分子の機能解析と新規治療の開発	田村 秀人	血液内科	1,950,000	補 委	厚生労働省
新規RCS1-ABL1遺伝子癌化能と分子標的薬開発	猪口 孝一	血液内科	2,470,000	補 委	厚生労働省
末梢血単球を標的とした強皮症に対する新規治療法の開発	桑名 正隆	リウマチ・膠原 病内科	1,820,000	補 委	厚生労働省
脂肪由来間葉系幹細胞を用いた骨髄再生の研究・人工骨髄の作成をめざして	植田 高弘	小児科	1,820,000	補 委	厚生労働省
川崎病発症機序の解明	深澤 隆治	小児科	1,950,000	補 委	厚生労働省
3次元タギングMRIを用いた心不全の予後予測	天野 康雄	放射線科	1,820,000	補 委	厚生労働省
外科的侵襲時における脂肪組織とM1/M2マクロファージのクロストーク機構の解明	松谷 毅	消化器外科	1,560,000	補 委	厚生労働省

小計 11 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
cell free DNA を用いた EGFR 阻害剤耐性獲得機序解明	山田 岳史	消化器外科	780,000	補 委	厚生労働省
膵癌における Stat5 の生物学的役割とそのシグナル伝達経路について	松下 晃	消化器外科	1,560,000	補 委	厚生労働省
尿路上皮癌における生理活性化脂質の新規役割の究明	近藤 幸尋	泌尿器科	2,210,000	補 委	厚生労働省
網膜動脈閉塞症に対する水素水点眼の臨床応用	五十嵐 徹	小児科	1,690,000	補 委	厚生労働省
網膜酸化ストレス傷害に対する水素水点眼の効果	高橋 浩	眼科	1,820,000	補 委	厚生労働省
眼組織の移植と再生のための眼免疫応答の制御	堀 純子	眼科	2,080,000	補 委	厚生労働省
ケロイド発生における局所、全身、遺伝因子の相互作用機序の解明	小川 令	形成外科・美容外科	2,990,000	補 委	厚生労働省
間質性肺疾患の末梢血中線維細胞に関する研究	根井 貴仁	呼吸器内科	780,000	補 委	厚生労働省
消化管神経内分泌腫瘍における lumican の機能解明と新規治療薬の開発	進士 誠一	消化器外科	1,170,000	補 委	厚生労働省
子宮内膜癌における FGFR 2 III c の役割の解明及び新たな治療戦略の検討	彭 為霞	病理診断科	1,430,000	補 委	厚生労働省
重症脳損傷における脳低温療法後の免疫機能	松本 学	救命救急科	1,300,000	補 委	厚生労働省

小計 11 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
新規モデルマウスを用いた高脂肪食誘導性耐糖能異常における疾患感受性規定因子の解明	長尾 元嗣	糖尿病・内分泌代謝内科	1,560,000	補委	厚生労働省
クラスター分析による慢性閉塞性肺疾患のフェノタイプと特異バイオマーカーの同定	林 宏紀	呼吸器内科	1,040,000	補委	厚生労働省
骨髄異形成症候群(MDS)における IL-2 受容体 α 鎖を標的とした新規治療の検討	近藤 麻加	血液内科	1,560,000	補委	厚生労働省
肝臓がんに対する門脈逆流式閉鎖循環下肝灌流療法の開発	小野澤 志郎	放射線科	1,300,000	補委	厚生労働省
徐放化多血小板血漿による血管新生療法の開発	栗田 二郎	心臓血管外科	650,000	補委	厚生労働省
急性期脳梗塞における ADMA 値の経時変化と身体機能予後への影響	阿部 新	神経・脳血管内科	1,690,000	補委	厚生労働省
MLL/AF4 陽性 ALL の S100A6 抑制による新規治療開発	玉井 勇人	血液内科	2,470,000	補委	厚生労働省
小児喘息の phenotype-endotype に寄与するバイオマーカーの解明	林 美雪	小児科	1,560,000	補委	厚生労働省
In vitro イメージングを用いた吸入麻酔薬セボフルランの標的分子の探索	安齋 めぐみ	麻酔科・ペインクリニック	910,000	補委	厚生労働省
全身麻酔を受けた術後患者の自律神経活動を基盤とした離床プログラムの開発	細萱 順一	心臓血管集中治療科	1,170,000	補委	厚生労働省
高温温熱灌流療法の開発に対する研究	村田 智	放射線科	1,300,000	補委	厚生労働省

小計 11 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
悪性脳腫瘍に対する音響化学療法によるブレイクスルー	山口 文雄	脳神経外科	780,000	補 委	厚生労働省

小計 1 件

合計 107 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Kinugawa K	循環器内科	Impacts of patient characteristics on the effectiveness of landiolol in AF/AFL patients complicated with LV dysfunction : Subgroup analysis of the J-Land Study	Adv Ther
2	Toyota N	循環器内科	A high-risk patient with long-QT syndrome with no response to cardioselective beta-blockers	Heart Vessels
3	Makita N	循環器内科	Novel Calmodulin (CALM2) Mutations Associated with Congenital Arrhythmia Susceptibility	Circ Cardiovasc Genet
4	Ise T	循環器内科	Extensive late gadolinium enhancement on cardiovascular magnetic resonance predicts adverse outcomes and lack of improvement in LV function after steroid	Heart
5	Shirakabe A	循環器内科	Immediate administration of tolvaptan prevents the exacerbation of acute kidney injury and improves the mid-term prognosis of patients with severely decompensated	Circ J
6	Yodogawa K	循環器内科	Noninvasive risk stratification of lethal ventricular arrhythmias and sudden cardiac death after myocardial infarction	J Arrhythm
7	Shimizu W	循環器内科	Importance of clinical analysis in the new era of molecular genetic screening	J Am Coll Cardiol
8	Shimizu W	循環器内科	Current status and future perspective in inherited cardiac arrhythmias	Nihon Rinsho

小計 8 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
9	Shirakabe A	循環器内科	Preventable effects of bare-metal stent on restenosis after everolimus-eluting stent deployment	Heart Vessels
10	Saito T	循環器内科	Ultrastructural features of cardiomyocytes in dilated cardiomyopathy with initially decompensated heart failure as a predictor of prognosis	Eur Heart J
11	Nakamura S	循環器内科	Impact of sleep-disordered breathing and efficacy of positive airway pressure on mortality in patients with chronic heart failure and sleep-disordered breathing : a meta-analysis	Clin Res Cardiol
12	Nakagomi A	循環器内科	Relationships between the Serum Cholesterol Levels, Production of Monocyte Proinflammatory Cytokines and Long-term Prognosis in Patients with Chronic Heart Failure	Intern Med
13	Shirakabe A	循環器内科	Serum Heart-Type Fatty Acid-Binding Protein Level Can Be Used to Detect Acute Kidney Injury on Admission and Predict an Adverse Outcome in Patients With Acute Heart Failure	Circ J
14	Miyachi H	循環器内科	reatment of Visceral Malperfusion in Acute Type B Aortic Dissection by Percutaneous Endovascular Fenestration Using a Stent, with Additional Stenting of the True Lumen	J Nippon Med Sch
15	Okamura H	循環器内科	Risk Stratification in Patients With Brugada Syndrome Without Previous Cardiac Arrest: Prognostic Value of Combined Risk Factors	Circ J
16	Okamatsu H	循環器内科	Impact of Left Ventricular Diastolic Dysfunction on Outcome of Catheter Ablation for Atrial Fibrillation in Patients With Hypertrophic Cardiomyopathy	Circ J

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
17	Miyamoto K	循環器内科	Efficacy and safety of flecainide for ventricular arrhythmias in patients with Andersen-Tawil syndrome with KCNJ2 mutations	Heart Rhythm
18	Kubota Y	循環器内科	Impact of β -blocker selectivity on long-term outcomes in congestive heart failure patients with chronic obstructive pulmonary disease	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis
19	Inoue K	循環器内科	Clinical and procedural predictors of early complications of ablation for atrial fibrillation : Analysis of the national registry data	Heart Rhythm
20	Murakawa Y	循環器内科	Nationwide survey of catheter ablation for atrial fibrillation : the Japanese Catheter Ablation Registry of Atrial Fibrillation (J-CARAF) --report of 1-year follow-up	Circ J
21	Inoue Y	循環器内科	Current status of catheter ablation for atrial fibrillation--updated summary of the Japanese Catheter Ablation Registry of Atrial Fibrillation (J-CARAF)	Circ J
22	Murakawa Y	循環器内科	Nationwide survey of catheter ablation for atrial fibrillation : The Japanese Catheter Ablation Registry of Atrial Fibrillation (J-CARAF) -Report on antiarrhythmic drug therapy	J Arrhythm
23	Tsuboi I	循環器内科	Anatomical Factors Associated with Periesophageal Vagus Nerve Injury after Catheter Ablation of Atrial Fibrillation	J Niipon Med Sch
24	Hayashi H	循環器内科	Left atrial wall thickness and outcomes of catheter ablation for atrial fibrillation in patients with hypertrophic cardiomyopathy	J Interv Card Electrophysiol
25	Hayashi H	循環器内科	Three-month lower-dose flecainide after catheter ablation of atrial fibrillation	Europace

小計 9 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
26	Ogano M	循環器内科	Cardiac resynchronization therapy restored ventricular septal myocardial perfusion and enhanced ventricular remodeling in patients with nonischemic cardiomyopathy presenting with left bundle branch block	Heart Rhythm
27	Uetake S	循環器内科	Frequency analysis of surface electrocardiograms (ECGs) in patients with persistent atrial fibrillation : Correlation with the intracardiac ECGs and implications for radiofrequency catheter ablation	J Arrhythm
28	Takagi G	循環器内科	Therapeutic vascular angiogenesis for intractable macroangiopathy-related digital ulcer in patients with systemic sclerosis : a pilot study	Rheumatology (Oxford)
29	Yamanaka H	循環器内科	Age-adjusted level of circulating elastin as a cardiovascular risk factor in medical check-up individuals	J Cardiovasc Med
30	Tokita Y I	循環器内科	Usefulness of N-Terminal Pro-Brain Natriuretic Peptide Levels to Predict Success of Weaning from Intra-Aortic Balloon Pumping	Am J Cardiol
31	Setsuta K	循環器内科	Heart-type fatty acid-binding protein is a novel prognostic marker in patients with essential hypertension	Int J Cardiol
32	Nakamura S	循環器内科	Impact of the efficacy of thrombolytic therapy on the mortality of patients with acute submassive pulmonary embolism : a meta-analysis	J Thromb Haemost
33	Nakamura S	循環器内科	Relationship between Cholesterol Crystals and Culprit Lesion Characteristics in Patients with Stable Coronary Artery Disease : An Optical Coherence Tomography Study	Clin Res Cardiol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
34	Nakamura S	循環器内科	Prognostic values of highly sensitive cardiac troponin T and B-type natriuretic peptide for clinical features in hypertrophic obstructive cardiomyopathy	BMJ Open
35	Tsuboi I	循環器内科	Anatomical Factors Associated with Periesophageal Vagus Nerve Injury after Catheter Ablation of Atrial Fibrillation	J Nippon Med Sch
36	Okazaki H	循環器内科	New scoring system (APACHE-HF) for predicting adverse outcomes in patients with acute heart failure : Evaluation of the APACHE II and Modified APACHE II scoring systems	J Cardiol
37	Shirakabe A	循環器内科	Prognostic impact of the serum heart-type fatty acid-binding protein (H-FABP) levels in patients admitted to the non-surgical intensive care unit	Clin Res Cardiol
38	Yamamoto Y	循環器内科	Seasonal variation in patients with acute heart failure : Prognostic impact of admission in the summer	Heart Vessels
39	Hayashi H	循環器内科	Left atrial wall thickness and outcomes of catheter ablation for atrial fibrillation in patients with hypertrophic cardiomyopathy	J Interv Card Electrophysiol
40	Maruyama M	循環器内科	Number needed to entrain : a new criterion for entrainment mapping in patients with intra-atrial reentrant tachycardia	Circ Arrhythm Electrophysiol
41	Inami T	循環器内科	Reply to the Letter to the editor : "A comment on Thyrotoxic pericarditis"	Int J Cardiol
42	Iwasaki Y	循環器内科	Atrial fibrillation promotion with long-term repetitive obstructive sleep apnea in a rat model	J Am Coll Cardiol
43	Kato T	循環器内科	Inefficacy of a highly selective T-type calcium channel blocker in preventing atrial fibrillation related remodeling	J Cardiovasc Electrophysiol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
44	Ishiwata A	神経・ 脳血管内科	The Potentially Protective Effect of Donepezil in Alzheimer's Disease	Dement Geriatr Cogn Disord
45	Abe A	神経・ 脳血管内科	Aortic Arch Atherosclerosis in Ischaemic Stroke of Unknown Origin Affects Prognosis	Cerebrovasc Dis Extra
46	Suda S	神経・ 脳血管内科	Valproic acid ameliorates ischemic brain injury in hyperglycemic rats with permanent middle cerebral occlusion	Brain Res
47	Kanamaru T	神経・ 脳血管内科	Intravenous transplantation of bone marrow-derived mononuclear cells prevents memory impairment in transgenic mouse models of Alzheimer's disease	Brain Res
48	Kanamaru T	神経・ 脳血管内科	Oxidative stress accelerates amyloid deposition and memory impairment in a double-transgenic mouse model of Alzheimer's disease	Neurosci Lett
49	Sakamoto Y	神経・ 脳血管内科	A case report of bilateral paramedian thalamic and occult midbrain infarctions without disturbance of consciousness	Neurol Sci
50	Naganawa M	神経・ 脳血管内科	Test-retest variability of adenosine A2A binding in the human brain with ¹¹ C-TMSX and PET	EJNMMI Res
51	Kumagai T	神経・ 脳血管内科	Sex differences in the pharmacokinetics of levodopa in elderly patients with Parkinson disease	Clin Neuropharmacol
52	Inaba T	神経・ 脳血管内科	Neuroprotective effects of pretreatment with macrolide antibiotics on cerebral ischemia reperfusion injury	Neurol Res
53	Katayama Y	神経・ 脳血管内科	Neuroprotective effects of erythromycin on cerebral ischemia reperfusion-injury and cell viability after oxygen-glucose deprivation in cultured neuronal cells	Brain Res

小計 10 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
54	Abe A	神経・ 脳血管内科	Acute vertebral artery origin occlusion leading to basilar artery thrombosis successfully treated by angioplasty with stenting and thrombectomy	Interv Neuroradiol
55	Nakajima N	神経・ 脳血管内科	Brainstem infarction with wall-eyed bilateral internuclear ophthalmoplegia syndrome and vertical one-and-a-half syndrome	Journaeasesl of stroke and cerebrovascular dis
56	Kano O	神経・ 脳血管内科	Rhinorrhea in Parkinson's disease : a consecutive multicenter study in Japan	Journal of the neurological sciences
57	Takahashi S	神経・ 脳血管内科	Comparison of Cerebral Blood Flow Data Obtained by Computed Tomography (CT) Perfusion with that Obtained by Xenon CT Using 320-Row CT	Journal of stroke and cerebrovascular diseases
58	Abe A	神経・ 脳血管内科	Relative risk values of age, acrolein, IL-6 and CRP as markers of periventricular hyperintensities : a cross-sectional study	BMJ Open
59	Muraga K	神経・ 脳血管内科	The asymmetric dimethylarginine level is associated with the predicted stroke risk in Japanese women	J Atheroscler Thromb
60	Abe A	神経・ 脳血管内科	Excision of Zenker's diverticulum to treat dysphagia associated with acute-phase cerebral infarction	J Nippon Med Sch
61	Nakajima N	神経・ 脳血管内科	Transient disappearance of white matter lesions on correction of hyponatremia	Neurol Clin Pract
62	Nakajima N	神経・ 脳血管内科	Putaminal changes before the onset of clinical symptoms in diabetic hemichorea-hemiballism	Internal medicine
63	Suda S	神経・ 脳血管内科	Valproic acid enhances the effect of bone marrow-derived mononuclear cells in a rat ischemic stroke model	Brain Res
64	Ishiwata A	神経・ 脳血管内科	The Potentially Protective Effect of Donepezil in Alzheimer's Disease	Dement Geriatr Cogn Disord

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
65	Abe A	神経・ 脳血管内科	Aortic Arch Atherosclerosis in Ischaemic Stroke of Unknown Origin Affects Prognosis	Cerebrovasc Dis Extra
66	Ando K	腎臓内科	Anti-albuminuric effect of the aldosterone blocker eplerenone in non-diabetic hypertensive patients with albuminuria : a double-blind, randomised, placebo-controlled trial	Lancet Diabetes Endocrinol.
67	Higo S	腎臓内科	Acute Graft-Versus-Host Disease of the Kidney in Allogeneic Rat Bone Marrow Transplantation	PLoS One
68	Sakai Y	腎臓内科	Effects of alogliptin in chronic kidney disease patients with type 2 diabetes	Internal Medicine
69	Sakai Y	腎臓内科	Clinical Benefit of the Change of Dialysate Calcium Concentration From 3.0 to 2.75mEq/L.Benefit of 2.75mEq/L Calcium Dialysate	Ther Apher Dial
70	Kuwana M	リウマチ・膠原 病内科	β 2-glycoprotein I-specific T cells are associated with epitope spread to lupus-related autoantigens in multiple MHC class II haplotypes	J. Biol. Chem.
71	Tanino Y	血液内科	Pulmonary fibrosis associated with TINF2 gene mutation : is somatic reversion required	Eur Respir
72	Konuma T	血液内科	Granulocyte colony-stimulating factor combined regimen in cord blood transplantation for acute myeloid leukemia : a nationwide retrospective analysis in Japan	Haematologica
73	Atsukawa M	血液内科	Effect of fluvastatin on 24-week telaprevir-based combination therapy for hepatitis C virus genotype 1b-infected chronic hepatitis C	Eur J Gastroenterol Hepatol

小計 9 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
74	Inokuchi K	血液内科	Efficacy of Molecular Response at 1 or 3 Months after the Initiation of Dasatinib Treatment Can Predict an Improved Response to Dasatinib in Imatinib-Resistant or Imatinib-Intolerant Japanese Patients with Chronic Myelogenous Leukemia during the Chronic Phase	Journal of Clinical and Experimental Hematopathology
75	Tamai H	血液内科	Inhibition of S100A6 induces GVL effects in MLL/AF4-positive ALL in human PBMC-SCID mice	Bone Marrow Transplantation
76	Taki Y	消化器・肝臓内科	Predictive factors for improvement of ascites after transjugular intrahepatic portosystemic shunt in patients with refractory ascites	Hepatology Research
77	Atsukawa M	消化器・肝臓内科	Effect of fluvastatin on 24-week telaprevir-based combination therapy for hepatitis C virus genotype 1b-infected chronic hepatitis C	Eur J Gastroenterol Hepatol.
78	Nakagawa A	消化器・肝臓内科	Relationship between HCV dynamics and sustained virological responses in chronic hepatitis C genotype 1b patients treated with telaprevir-based triple therapy	Eur J Gastroenterol Hepatol.
79	Abe H	消化器・肝臓内科	Predictors of response to 24-week telaprevir-based triple therapy for treatment-naïve genotype 1b chronic hepatitis C patients	Gastroenterol Res Pract.
80	Shimpuku H	消化器・肝臓内科	Impact of eating attitude and impairment of physical quality of life between tertiary clinic and primary clinic functional dyspepsia outpatients in Japan	J Neurogastroenterol Motil.

小計 7 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
81	Sano H	消化器・ 肝臓内科	Mechanisms of Acid reflux and how refluxed Acid extends proximally in patients with non-erosive reflux disease	Digestion
82	Shimada N	消化器・ 肝臓内科	A 48-week telaprevir-based triple combination therapy improves sustained virological response rate in previous non-responders to peginterferon and ribavirin with genotype 1b chronic hepatitis C : A multicenter study	Hepatol Res
83	Abe H	消化器・ 肝臓内科	Factors associated with sustained virological response in 24-week telaprevir-based triple therapy for chronic hepatitis C genotype 1b patients with the IL28B minor genotype	Hepatol Res
84	Futagami S	消化器・ 肝臓内科	Systematic review : post-infectious functional dyspepsia	Aliment Pharmacol Ther
85	Mitsui K	消化器・ 肝臓内科	Localization of phosphorylated ErbB1-4 and heregulin in colorectal cancer	BMC Cancer
86	Yamawaki H	消化器・ 肝臓内科	Leu72Met408 Polymorphism of the Ghrelin Gene Is Associated With Early Phase of Gastric Emptying in the Patients With Functional Dyspepsia in Japan	J Neurogastroenterol Motil
87	Kondo C	消化器・ 肝臓内科	Safety and efficacy of partial splenic embolization in telaprevir-based triple therapy for chronic hepatitis C	Internal Medicine
88	Miwa H	消化器・ 肝臓内科	Evidence-based clinical practice guidelines for functional dyspepsia	J Gastroenterol
89	Matsuura M	消化器・ 肝臓内科	Lubiprostone decreases the small bowel transit time by capsule endoscopy : an exploratory, randomised, double-blind, placebo-controlled 3-way crossover study	Gastroenterol Res Pract

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
90	Yamawaki H	消化器・ 肝臓内科	Impact of Acotiamide Affects Meal-related Symptoms and Lower Abdominal Symptoms in Functional Dyspepsia in Japan	Int J Gastroenterol Disord Ther
91	Sakamoto S	消化器・ 肝臓内科	Primary Helicobacter pylori eradication rates of lansoprazole, amoxicillin, and metronidazole therapy is much higher than lansoprazole, amoxicillin and clarithromycin therapy in Chiba prefecture, Japan	J Gastrointest Dig Syst
92	Kassab A	消化器・ 肝臓内科	Is folate an aetiological factor for colorectal cancer onset? A case-control study	Med chem
93	Ishigaki Y	糖尿病・内分 泌代謝内科	Elevation of HDL-C in Response to Statin Treatment is Involved in the Regression of Carotid Atherosclerosis	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis
94	Ikeda Y	糖尿病・内分 泌代謝内科	Low-Dose Aspirin for Primary Prevention of Cardiovascular Events in Japanese Patients 60 Years or Older With Atherosclerotic Risk Factors	The Journal of the American Medical Association
95	Kato S	糖尿病・内分 泌代謝内科	Liquid chromatography-tandem mass spectrometry determination of human plasma 1-palmitoyl-2-hydroperoxyoctadecadienoyl-phosphatidylcholine isomers via promotion of sodium adduct formation	Analytical Biochemistry
96	Yamamoto K	呼吸器内科	MiR-379/411 cluster regulates IL-18 and contributes to drug resistance in malignant pleural mesothelioma	Oncology Report
97	Iijima Y	呼吸器内科	Prognostic significance of PIK3CA and SOX2 in Asian patients with lung squamous cell carcinoma	Int J Oncol
98	Kashiwada T	呼吸器内科	Beta-catenin-dependent transcription is central to Bmp-mediated formation of venous vessels	Development

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
99	Inomata M	呼吸器内科	Pirfenidone inhibits fibrocyte accumulation in the lungs in bleomycin-induced murine pulmonary fibrosis	Respir Res
100	Bando M	呼吸器内科	A prospective survey of idiopathic interstitial pneumonias in a web registry in Japan	Respir Investig
101	Enomoto N	呼吸器内科	An exploratory trial of intravenous immunoglobulin therapy for idiopathic pulmonary fibrosis : A preliminary multicenter report	Clin Respir J
102	Mochimaru H	呼吸器内科	Reconsideration of discrepancies between clinical and histopathological features in acute eosinophilic pneumonia	Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis
103	Ogura T	呼吸器内科	Safety and pharmacokinetics of nintedanib and pirfenidone in idiopathic pulmonary fibrosis	Eur Respir J
104	Miura Y	呼吸器内科	Clinical experience with pirfenidone in five patients with scleroderma-related interstitial lung disease	Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis.
105	Kokuho N	呼吸器内科	Diagnostic Values For Club Cell Secretory Protein (CC16) in Serum of Patients of Combined Pulmonary Fibrosis and Emphysema. COPD	Journal of Chronic Obstructive Pulmonary Disease
106	Inomata M	呼吸器内科	An autopsy study of combined pulmonary fibrosis and emphysema : correlations among clinical, radiological, and pathological features	BMC Pulm Med
107	Kokuho N	呼吸器内科	Diagnostic Values For Club Cell Secretory Protein (CC16) in Serum of Patients of Combined Pulmonary Fibrosis and Emphysema	Journal of Chronic Obstructive Pulmonary Disease

小計 9 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
108	Minegishi Y	呼吸器内科	Clinical features, anti-cancer treatments and outcomes of lung cancer patients with combined pulmonary fibrosis and emphysema	Lung Cancer
109	Kamio K	呼吸器内科	Double-blind controlled trial of lecithinized superoxide dismutase in patients with idiopathic interstitial pneumonia-short term evaluation of safety and tolerability	BMC Pulm Med
110	Azuma A	呼吸器内科	INPULSIS Trial Investigators. Efficacy and safety of nintedanib in idiopathic pulmonary fibrosis	N Engl J Med
111	Kurotsu S	呼吸器内科	Ameliorative effect of mepenzolate bromide against pulmonary fibrosis	J Pharmacol Exp Ther
112	Azuma A	呼吸器内科	The WASOG Sarcoidosis Organ Assessment Instrument : An update of a previous clinical tool	Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis
113	Satoh E	呼吸器内科	Association between Serum Lactate Levels and Early Neurogenic Pulmonary Edema after Nontraumatic Subarachnoid Hemorrhage	J Nippon Med Sch
114	Takeuchi S	呼吸器内科	Significance of osteopontin in the sensitivity of malignant pleural mesothelioma to pemetrexed	International Journal of Oncology
115	Minegishi Y	呼吸器内科	Clinical features, anti-cancer treatments and outcomes of lung cancer patients with combined pulmonary fibrosis and emphysema	Lung Cancer
116	Fujimori M	呼吸器内科	Effect of communication skills training program for oncologists based on patient preferences for communication when receiving bad news : a randomized controlled trial	J Clin Oncol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
117	Kenmotsu H	呼吸器内科	A pilot study of adjuvant chemotherapy with irinotecan and cisplatin for completely resected high-grade pulmonary neuroendocrine carcinoma (large cell neuroendocrine carcinoma and small cell lung cancer)	Lung Cancer
118	Angata T	呼吸器内科	Association of serum interleukin-27 with the exacerbation of chronic obstructive pulmonary disease	Physiol Rep
119	Ishii T	呼吸器内科	Association of group component genetic variations in COPD and COPD exacerbation in a Japanese population	Respirology
120	Hattori K	呼吸器内科	Relationship between serum cardiac troponin T level and cardiopulmonary function in stable chronic obstructive pulmonary disease	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis
121	Takiguchi Y	呼吸器内科	Phase II study of carboplatin, docetaxel and bevacizumab for chemotherapy-naive patients with advanced non-squamous non-small cell lung cancer	Int J Clin Oncol
122	Gemma A	呼吸器内科	Final safety and efficacy of erlotinib in the phase 4 POLARSTAR surveillance study of 10 708 Japanese patients with non-small-cell lung cancer	Cancer Sci
123	Mathumoto Y	呼吸器内科	A phase II study of erlotinib monotherapy in pre-treated non-small cell cancer without EGFR gene mutation who have never/light smoking history : Re-evaluation of EGFR gene status	Lung Cancer
124	Satoh T	呼吸器内科	Incidence and Clinical Features of Drug-induced Lung Injury in Patients with Advanced Colorectal Cancer Receiving Cetuximab : Results of a Prospective Multicenter registry	Jpn J Clin Oncol

小計 8 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
125	Angata T	呼吸器内科	Association of serum interleukin-27 with the exacerbation of chronic obstructive pulmonary disease	Physiol Rep
126	Hirakawa A	呼吸器内科	A Descriptive Analysis of Post-Chemotherapy Development of Interstitial Lung Disease using Spontaneous Reporting Data in Japan	Curr Drug Saf
127	Maemondo M	呼吸器内科	Randomized phase II trial comparing carboplatin plus weekly paclitaxel and docetaxel alone in elderly patients with advanced non-small cell lung cancer : north japan lung cancer group trial 0801	Oncologist
128	Shingai Y	精神神経科	Age-related decline in dopamine transporter in human brain using PET with a new radioligand [18F] FE-PE2I	Ann Nucl Med
129	Sakayori T	精神神経科	Effect of mazindol on extracellular dopamine concentration in human brain measured by PET	Psychopharmacology (Berl)
130	Ogawa K	精神神経科	Occupancy of serotonin transporter by tramadol : a positron emission tomography study with [11C] DASB	Int J Neuropsychopharmacol
131	Tateno A	精神神経科	Amyloid positron emission tomography imaging for the differential diagnosis of Alzheimer's disease	J Nippon Med Sch
132	Narishige R	精神神経科	Gender differences in suicide attempters : a retrospective study of precipitating factors for suicide attempts at a critical emergency unit in Japan	BMC Psychiatry
133	Kim W	精神神経科	In vivo activity of modafinil on dopamine transporter measured with positron emission tomography and [18F] FE-PE2I	International Journal of Neuropsychopharmacology

小計 9 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
134	Tateno A	精神神経科	A case of Alzheimer's disease following mild traumatic brain injury	General Hospital Psychiatry
135	Pawankar R	小児科	ICON : chronic rhinosinusitis	World Allergy Organ J.
136	Pawankar R	小児科	Global Allergy Forum and Second Davos Declaration 2013 Allergy : Barriers to cure--challenges and actions to be taken	Allergy
137	Pawankar R	小児科	Precautionary labelling of foods for allergen content : are we ready for a global framework?	World Allergy Organ J
138	Pawankar R	小児科	A World Allergy Organization international survey on physical activity as a treatment option for asthma and allergies	A World Allergy Organization international survey on physical activity as a treatment option for asthma and allergies
139	Yamanishi M	小児科	Melatonin overcomes resistance to clofarabine in two leukemic cell lines by increased expression of deoxycytidine kinase	Exp Hematol. 2014
140	Yamanishi M	小児科	Melatonin overcomes resistance to clofarabine in two leukemic cell lines	Exp Hematol. 2014
141	Ueda T	小児科	Adipose-derived stromal cells grown on a hydroxyapatite scaffold can support hematopoiesis in regenerated bone marrow in vivo	Cell Biol Int
142	Pawankar R	小児科	The paradigm of cytokine networks in allergic airway inflammation	Curr Opin Allergy Clin Immunol

小計 9 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
143	Amano Y	放射線科	Myocardial fibrosis evaluated by Look-Locker and late gadolinium enhancement magnetic resonance imaging in apical hypertrophic cardiomyopathy : association with ventricular tachyarrhythmia and risk factors	J Magn Reson Imaging
144	Tomiyama T	放射線科	Impact of time-of-flight on qualitative and quantitative analyses of myocardial perfusion PET studies using ¹³ N-ammonia	Journal of Nuclear Cardiology
145	Tani H	放射線科	Assessing Radiologist Performance and Microcalcifications Visualization Using Combined 3D Rotating Mammogram and Digital Breast Tomosynthesis	Breast Imaging Lecture Notes in Computer Science
146	Tani H	放射線科	Correlation of (18) F-BPA and (18) F-FDG uptake in head and neck cancers	Radiotherapy and Oncology
147	Yamada F	放射線科	Pseudonormal Corticomedullary Differentiation of the Kidney Assessed by T1-weighted MRI in Cirrhotic Patients with Chronic Kidney Disease	Magnetic Resonance in Medical Sciences
148	Murata S	放射線科	Feasibility and safety of negative-balance isolated pelvic perfusion in patients with pretreated recurrent or persistent uterine cervical cancer	Ann Surg Oncol
149	Murata S	放射線科	Minimizing systemic leakage of cisplatin during percutaneous isolated pancreas perfusion chemotherapy : A pilot study	Radiology
150	Murata S	放射線科	Retrograde-outflow percutaneous isolated hepatic perfusion using cisplatin : A pilot study on pharmacokinetics and feasibility	Eur Radiol
151	Yasui D	放射線科	Improved efficacy of transcatheter arterial chemoembolization using warmed miriplatin for hepatocellular carcinoma	Biomed Res Int

小計 9 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
152	Murata S	放射線科	Negative-balance isolated pelvic perfusion in patients with incurable symptomatic rectal cancer : results and drug dose correlation to adverse events	Acta Radiol
153	Murata S	放射線科	Hemodynamics in rat liver tumor model during retrograde-outflow isolated hepatic perfusion with aspiration from the portal vein : angiography and in vivo microscopy	Acta Radiol
154	Mine T	放射線科	Contribution of extrahepatic collaterals to liver parenchymal circulation after proper hepatic artery embolization	Journal of Gastroenterology and Hepatology
155	Mine T	放射線科	Response to “Transcatheter arterial embolization for gastroduodenal ulcer bleeding : the use of cyanoacrylate glue has gained acceptance”	Acta Radiologica
156	Fukushima Y	放射線科	Nuclear myocardial perfusion imaging with a cadmium-telluride semiconductor detector gamma camera in patients with acute myocardial infarction	Annals of nuclear medicine
157	Kiriyama T	放射線科	Interpretative variability and its impact on the prognostic value of myocardial Fatty Acid imaging in asymptomatic hemodialysis patients in a multicenter trial in Japan	Circ J
158	Murata S	放射線科	Interventional treatment for unresectable hepatocellular carcinoma	World J Gastroenterol
159	Akiba A	放射線科	Volume change and liver parenchymal signal intensity inGd-EOB-DTPA-enhanced magnetic resonance imaging after portal vein embolizationprior to hepatectomy	Biomed Res Int
160	Kaga M	皮膚科	Stress sensitivity in patients with atopic dermatitis in relation to the translocator protein 18 kDa (TSPO)	J Nippon Med Sch

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
161	Ansai S	皮膚科	Case of Merkel cell carcinoma with squamous cell carcinoma possibly arising in chronic radiodermatitis of the hand	J Dermatol
162	Ansai S	皮膚科	Case of anti-laminin gamma-1 pemphigoid with antibody against C-terminal domain of BP180 in a patient with psoriasis vulgaris	J Dermatol
163	Yonenaga T	皮膚科	Four cases of Japanese patients with psoriatic arthritis in whom effective treatments by anti-tumor necrosis factor- α drugs were evaluated by magnetic resonance imaging together with improvement of skinlesions	J Dermatol
164	Furue M	皮膚科	Poor adherence to oral and topical medication in 3096 dermatological patients as assessed by the Morisky Medication Adherence Scale-8	Br J Dermatol
165	Hayashi M	皮膚科	Novel IL36RN gene mutation revealed by analysis of 8 Japanese patients with generalized pustular psoriasis	J Dermatol Sci
166	Katayama I	皮膚科	Japanese Society of Allergology. Japanese Guideline for AtopicDermatitis 2014	Allergol Int
167	Tamari M	皮膚科	An association study of 36 psoriasis susceptibility loci for psoriasis vulgaris and atopic dermatitis in a Japanese population	J deramatol Sci
168	Yanaba K	皮膚科	Impact of obesity on the efficacy of ustekinumab in Japanese patients withpsoriasis : a retrospective cohort study of 111 patients	Arch Dermatol Res
169	Nishigori C	皮膚科	Guide for medical professionals (i.e. dermatologists) for the management ofRhododenol-induced leukoderma	J Dermatol

小計 9 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
170	Ichiyama S	皮膚科	Interaction of the muscarinic acetylcholine receptor M ₂ subtype with G protein G α (i/o) isoforms and G β γ subunits as studied with the maltose-binding protein-M ₂ -G α (i/o) fusion proteins expressed in Escherichia coli	J Biochem
171	Furumatsu A	皮膚科	Large plaque-type benign cephalic histiocytosis showing rapid aggravation following vaccination	Cutis
172	Okamura K	皮膚科	Oculocutaneous albinism (OCA) in Japanese patients : five novel mutations	J Dermatol
173	Isomura T	皮膚科	Central nervous system effects of the second-generation antihistamines marketed in Japan -review of inter-drug differences using the proportional impairment ratio (PIR)	Plos One
174	Asayama S	皮膚科	Photodynamic Therapy with 5% δ -Aminolevulinic Acid is Safe and Effective Treatment of Acne Vulgaris in Japanese Patients	Laser Therapy
175	Kutsukake M	消化器・ 一般外科	Pioglitazone attenuates lung injury by modulating adipose inflammation	JOURNAL OF SURGICAL RESEARCH
176	Nakamura Y	消化器・ 一般外科	Laparoscopic distal pancreatectomy : Educating surgeons about advanced laparoscopic surgery	Asian Journal of Endoscopic Surgery
177	Akagi I	消化器・ 一般外科	Comprehensive Analysis of MicroRNA and mRNA Expression in Normal and Tumorous Human Esophageal Squamous Cell Lines Using Microarray Datasets	Dataset Papers in Science
178	Shimizu T	消化器・ 一般外科	Preoperative Three-dimensional Virtual Simulation for Safe Liver Surgery	Journal of Nippon Medical School

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
179	Mitsui K	消化器・ 一般外科	Localization of phosphorylated ErbB1-4 and heregulin in colorectal cancer	Bio Med Central
180	Matsuda A	消化器・ 一般外科	FK866,a Visfatin Inhibitor,Protects Against Acute Lung Injury After Intestinal Ischemia-Reperfusion in Mice via NF-kB Pathway	Annals of Surgery
181	Matsuda A	消化器・ 一般外科	Comparison of Long-Term Outcomes of Colonic Stent as "Bridge to Surgery"and Emergency Surgery for Malignant Large-Bowel Obstruction : A Meta-Analysis	SURGICAL ONCOLOGY
182	Yamagishi A	消化器・ 一般外科	Gene profiling and bioinformatics analyses reveal time course differential gene expression in surgically resected colorectal tissues	ONCOLOGY REPORTS
183	Mizuguchi Y	消化器・ 一般外科	Laparoscopic Cholecystectomy is Still Evolving	Austin Journal of Surgery
184	Mizuguchi Y	消化器・ 一般外科	Small Proline Rich Protein 2a in Benign and Malignant Liver Disease	HEPATOLOGY
185	Yamashita K	乳腺科	Reduced Port Laparoscopic Surgery, edited by Toshiyuki Mori, Giovanni Dapri (20th EAES Postgraduate course II : Single Port Surgery joined with TANKO June 20, 2012, Brussel, Belgium) , Springer	Breast Surgery
186	Yamasita K	乳腺科	Endoscopic Sentinel Node Biopsy is Less Invasive and Facilitated by SPECT-Fused 3D-CT Lymphography	Global Journal of Medical Research : I. 14
187	Takei H	乳腺科	Immunohistochemical Analyses of Cytokeratin in Breast Cancers from Old and New Eras	Journal of Nippon Medical School
188	Igarashi T	内分泌外科	An Extended Family with Familial Medullary Thyroid Carcinoma and Hirshsprung's Disease	J Nippon Ned Sch

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
189	Sugitani I	内分泌外科	Anaplastic Thyroid Carcinomas Incidentally Found on Postoperative Pathological Examination	World J Surg
190	Sugitani I	内分泌外科	Surgical Management of Retropharyngeal Nodes Metastases from Papillary Thyroid Carcinoma	World J Surg
191	Sugitani I	内分泌外科	Risk-adapted management of papillary thyroid carcinoma according to our own risk-group classification system : Is thyroid lobectomy the treatment of choice for low-risk patients?	Surgery
192	Morota T	心臓血管外科	Paraplegia prevention by oral pretreatment with memantine in a rabbit model	The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery
193	Sakamoto S	心臓血管外科	Exploration of Theoretical Ganglionated Plexi Ablation Technique in Atrial Fibrillation Surgery	Ann Thorac Surg
194	Morota T	心臓血管外科	Healing process of a novel zero-porosity vascular graft	Interactive CardioVascular and Thoracic Surgery
195	Usuda J	呼吸器外科	Risk-adapted management of papillary thyroid carcinoma according to our own risk-group classification system : Is thyroid lobectomy the treatment of choice for low-risk patients?	Int J Oncol
196	Murai Y	脳神経外科	Target-controlled infusion technique with indocyanine green videoangiography for radial artery graft	Clin Neurol Neurosurg
197	Matano F	脳神経外科	Atypical radiological and intraoperative findings of acute cerebral hemorrhage caused by ruptured cerebral aneurysm in a patient with severe chronic anemia	J Nippon Med Sch

小計 9 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
198	Umeoka K	脳神経外科	Occlusion of the ascending pharyngeal artery during carotid artery surgery : importance and technique	Turk Neurosurg
199	Morita A	脳神経外科	Development of a new compact intraoperative magnetic resonance imaging system : concept and initial experience	Neurosurgery
200	Murai Y	脳神経外科	Target-controlled infusion technique with indocyanine green videoangiography for radial artery graft	Clin Neurol Neurosurg
201	Morita A	脳神経外科	Multidisciplinary consensus on assessment of unruptured intracranial aneurysms : proposal of an international research group	Stroke
202	Morita A	脳神経外科	Does a craniotomy for treatment of unruptured aneurysm affect cognitive function?	Neurol Med Chir (Tokyo)
203	Morita A	脳神経外科	Neurovascular bundle decompression without excessive dissection for tarsal tunnel syndrome	Neurol Med Chir (Tokyo)
204	Morita A	脳神経外科	New outcomes with auditory brainstem implants in NF2 patients	Otol Neurotol
205	Morita A	脳神経外科	Effectiveness of zigzag Incision and 1.5-Layer method for frontotemporal craniotomy	Surg Neurol Int
206	Murai Y	脳神経外科	Occlusion of the ascending pharyngeal artery during carotid artery surgery : importance and technique	Turk Neurosurg
207	Murai Y	脳神経外科	4D Flow Preliminary Investigation for Anterior Fossa Dural Arteriovenous Fistula	Can J Neurol Sci
208	Matano F	脳神経外科	Endocan, a new invasion and angiogenesis marker of pituitary adenomas	J Neurooncol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
209	Ishii Y	脳神経外科	Endoscopic endonasal skull base surgery : advantages, limitations, and our techniques to overcome cerebrospinal fluid leakage : technical note	Neurol Med Chir (Tokyo)
210	Ishii Y	脳神経外科	Endoscopic Transsphenoidal Cisternostomy for Nonneoplastic Sellar Cysts	BioMed Research International
211	Koketsu K	脳神経外科	Gremlin, a Bone Morphogenetic Protein Antagonist, Is a Crucial Angiogenic Factor in Pituitary Adenoma	International Journal of Endocrinology
212	Morita A	脳神経外科	Prediction model for three-year rupture risk of unruptured cerebral aneurysms in Japanese patients	Ann Neurol
213	Matano F	脳神経外科	Endocan, a new invasion and angiogenesis marker of pituitary adenomas	Journal of Neurooncology
214	Shirokane K	脳神経外科	Hemothorax after the intravenous administration of tissue plasminogen activator in a patient with acute ischemic stroke and rib fractures	J Nippon Med Sch
215	Tsukiyama A	脳神経外科	Use of 3-dimensional computed tomography to detect a barium-masked fish bone causing esophageal perforation	J Nippon Med Sch
216	Nanno M	整形外科・ リウマチ外科	Transverse ultrasound assessment of the displacement of the median nerve in the carpal tunnel during wrist and finger motion in healthy volunteers	Journal of Nippon Medical School
217	Nanno M	整形外科・ リウマチ外科	Three-dimensional analysis of the attachment and path of the transverse carpal ligament	Journal of Nippon Medical School
218	Nanno M	整形外科・ リウマチ外科	Flexor pollicis longus rupture in a trigger thumb after intrathecal triamcinolone injections : a case report with literature review	Journal of Nippon Medical School

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
219	Takahashi K	整形外科・ リウマチ外科	Serum KL-6 elevation and possible pulmonary involvement in patients with rheumatoid arthritis treated with biological agents	Journal of Nippon Medical School
220	Shindo S	整形外科・ リウマチ外科	Heating properties of resonant cavity applicator for treatment of osteoarthritis-Heating experiments using prototype applicator	Thermal Medicine
221	Yoneyama K	女性診療科・ 産科	miR-200a, miR-200b and miR-429 Are Onco-miRs that Target the PTEN Gene in Endometrioid Endometrial Carcinoma	Anticancer Res
222	Yoneyama K	女性診療科・ 産科	Proteomic identification of autoantibodies in sera from patients with ovarian cancer as possible diagnostic biomarkers	Anticancer Res
223	Yoneyama K	女性診療科・ 産科	Proteomic identification of dihydrolipoamide dehydrogenase as a target of autoantibodies in patients with endometrial cancer	Anticancer Res
224	Yoneyama K	女性診療科・ 産科	Clinical characteristics of amniotic fluid embolism : an experience of 29 years	J Obstet Gynaecol Res
225	Nakagawa K	女性診療科・ 産科	Advanced scheduling for zygote intrafallopian transfer is possible via the use of a hormone replacement cycle for patients who have experienced repeated implantation failures	Arch Gynecol Obstet
226	Kambe S	女性診療科・ 産科	Human exosomal placenta-associated miR-517a-3p modulates the expression of PRKG1 mRNA in Jurkat cells	Biol Reprod
227	Sekiguchi A	女性診療科・ 産科	Consecutive cervical length measurements as a predictor of preterm cesarean section in complete placenta previa	J Clin Ultrasound
228	Ishikawa A	女性診療科・ 産科	Cell fusion mediates dramatic alterations in the actin cytoskeleton, focal adhesions, and E-cadherin in trophoblastic cells	Cytoskeleton (Hoboken)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
229	Matsuhashi T	女性診療科・産科	A low,non-toxic dose of paclitaxel can prevent dendritic cell-precursors from becoming tolerogenic dendritic cells with impaired functions	Biomed Res
230	Kuwabara Y	女性診療科・産科	Gonadotropin regulation and role of ovarian osteopontin in the periovulatory period	J Endocrinology
231	Okubo K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Efficacy and safety of fluticasone furorate nasal spray in Japanese children with perennial allergic rhinitis : a mutisentre, randomized, double-blind, placebo-contorolled trial	Allergol Int
232	Hosoya K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Placebo-controlled study with OHIO chamber of prophylactic puranlukast for children with Japanese cedar pollinosis : TOPIC-J III study	J Drug Assessment
233	Kimura G	泌尿器科	Enzaltamide in Metastatic Prostate Cancer before Chemotherapy	N Engl J Med
234	Kondo T	泌尿器科	Clinical efficacy and prognostic factors of tumor progression in Japanese patients with advanced renal cell carcinoma treated with sorafenib	Jpn J Clin Oncol
235	Igarashi T	眼科	Short-time exposure of hyperosmolarity triggers interleukin-6 expression in corneal epithelial cells	Cornea
236	Igarashi T	眼科	The conjunctival sensitivity in soft contact lens wearers	The conjunctival sensitivity in soft contact lens wearers
237	Igarashi T	眼科	AAV2/8-mediated expression of siRNA targeting VEGF efficiently inhibits neovascularization in a murine choroidal neovascularization model	Molecular Vision

小計 9 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
238	Takeuchi J	麻酔科・ペイン クリニック	Sevoflurane anesthesia persistently downregulates muscle-specific microRNA in rat plasma	Int J Mol Med
239	Goto G	麻酔科・ペイン クリニック	Changes in the gene expression levels of microRNAs in the rat hippocampus by sevoflurane and propofol anesthesia	Mol Med Rep
240	Sakamoto A	麻酔科・ペイン クリニック	Peioperative landiolol administration reduces atrial fibrillation after cardiac surgery : A meta-analysis of randomized controlled trials	Adv Ther
241	Okabe T	麻酔科・ペイン クリニック	Gastric tube insertion under direct vision using the King Vision video laryngoscope : a randomized, prospective, clinical trial	BMC Anesthesiol
242	Ishikawa M	麻酔科・ペイン クリニック	Retrospective evaluation of the predictive ractors of acute kidney injury after liver resection	International Journal of Clinical Anesthesiology
243	Okabe T	麻酔科・ペイン クリニック	Determinants of liquid gastric emptying : comparisons between milk and isocalorically adjusted clear fluids	Br J Anaesth
244	Satoh E	救命救急科	Association between Serum Lactate Levels and Early Neurogenic Pulmonary Edema after Nontraumatic Subarachnoid Hemorrhage	Journal of Nippon Medical School
245	Yokobori S	救命救急科	Glucose and oxygen metabolism following penetrating ballistic-like brain injury	Journal of Cerebral Blood Flow and Metabolism.
246	Yokobori S	救命救急科	The serum level of brain natriuretic peptide increases in severe subarachnoid hemorrhage thereby reflecting an increase in both cardiac preload and afterload	Cerebrovasc Dis

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
247	Tagami T	救命救急科	Effect of Triple-H Prophylaxis on Global End-Diastolic Volume and Clinical Outcomes in Patients with Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage	Neurocrit Care
248	Tagami T	救命救急科	Optimal range of global end-diastolic volume for fluid management after aneurysmal subarachnoid hemorrhage : a multicenter prospective cohort study	Crit Care Med
249	Arai M	救命救急科	A novel technique for managing open abdomen with the combined use of mesh-mediated traction and the bilateral anterior rectus abdominis sheath turnover flap method : how to do it	Surg Today
250	Miyauchi M	救命救急科	Evaluation of residual toxic substances in the stomach using upper gastrointestinal endoscopy for management of patients with oral drug overdose on admission : a prospective, observational study	Medicine (Baltimore)
251	Ogawa R	形成外科・美容外科	External wire-frame fixation of digital skin grafts : A non-invasive alternative to the K-wire insertion method	Burns
252	Ueda T	形成外科・美容外科	Adipose-derived stromal cells grown on a hydroxyapatite scaffold can support hematopoiesis in regenerated bone marrow in vivo	Cell Biol Int
253	Sano H	形成外科・美容外科	Effect of Mechanical Forces on Finger Nail Curvature : An Analysis of the Effect of Occupation on Finger Nails	Dermatol Surg
254	Umezawa H	形成外科・美容外科	Reconstruction after resection of malignant parapharyngeal space tumor	Cas Rep Plast Surg Hand Surg
255	Umezawa H	形成外科・美容外科	Harvesting huge bipediced free flaps from the anterolateral and medial thigh : Combined saphenous- anterolateral thigh (SALT) flaps	J Plast Reconstr Aesthet Surg

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
256	Umezawa H	形成外科・ 美容外科	Immediate free jejunum transfer for salvage surgery of gastric tube necrosis	Case Reports in Gastrointestinal Medicine
257	Ogawa R	形成外科・ 美容外科	Three-dimensional Reconstruction of Scar Contracture-bearing Axilla and Digital Webs Using the Square Flap Method	Plast Reconstr Surg Glob Open
258	Sano H	形成外科・ 美容外科	Clinical Evidence for the Relationship between Nail Configuration and Mechanical Forces	Plast Reconstr Surg Glob Open
259	Ogawa R	形成外科・ 美容外科	Hydrostatic Pressure-Driven Three-Dimensional Cartilage Induction Using Human Adipose-Derived Stem Cells and Collagen Gels	Tissue Eng Part A
260	Ogawa R	形成外科・ 美容外科	A Systematic Review on Burn Scar Contracture Treatment ; Searching for Evidence	J Burn Care Res
261	Ogawa R	形成外科・ 美容外科	The link between hypertension and pathological scarring : Does hypertension cause or promote keloid and hypertrophic scar pathogenesis?	Wound Repair and Regeneration
262	Ogawa R	形成外科・ 美容外科	In vivo injectable human adipose tissue regeneration by adipose-derived stem cells isolated from the fluid portion of liposuction aspirates	Tissue Cell
263	Ogawa R	形成外科・ 美容外科	Reply : Analysis of surgical treatments for earlobe keloids : analysis of 174 lesions in 145 patients	Plastic and Reconstructive Surgery
264	Ogawa R	形成外科・ 美容外科	Skin perforator freeways and pathways : understanding the role of true and choke anastomoses between perforator angiosomes and their impact on skin flap planning and outcomes	Plastic and Reconstructive Surgery

小計 9 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
265	Ogawa R	形成外科・ 美容外科	Associations between Keloid Severity and Single-Nucleotide Polymorphisms : Importance of rs8032158 as a Biomarker of Keloid Severity	Journal of Investigative Dermatology
266	Takami Y	形成外科・ 美容外科	Clinical Application and Histological Properties of Autologous Tissue-engineered Skin Equivalents Using an Acellular Dermal Matrix	Journal of Nippon Medical School
267	Ono S	形成外科・ 美容外科	Successful repair of flayed tissue in a degloving injury of the hand by arteriovenous anastomosis	J Plast Surg Hand Surg
268	Koike S	形成外科・ 美容外科	Nd : YAG Laser Treatment for Keloids and Hypertrophic Scars : An Analysis of 102 Cases	Plast Reconstr Surg Glob Open
269	Tajima S	形成外科・ 美容外科	Direct and Indirect Effects of a Combination of Adipose-Derived Stem Cells and Platelet-Rich Plasma on Bone Regeneration	Tissue Eng Part A
270	Kuwahara K	形成外科・ 美容外科	Congenital auricular fistula involving the lobule with caudal extension of an abscess	J Plast Reconstr Aesthet Surg
271	Hyakusoku H	形成外科・ 美容外科	The Effect of Bone-Marrow-Derived Stem Cells and Adipose-Derived Stem Cells on Wound Contraction and Epithelization	Adv Wound Care (New Rochelle)
272	Ogawa R	形成外科・ 美容外科	Tissue-Engineered Breast Reconstruction : Bridging the Gap toward Large-Volume Tissue Engineering in Humans	Plast Reconstr Surg
273	Umezawa H	形成外科・ 美容外科	A Comparison of Microsurgical Venous Anastomosis Techniques	Journal of Nippon Medical School
274	Akaishi S	形成外科・ 美容外科	Hypertension : A systemic key to understanding local keloid severity	Wound Repair Regen

小計 10 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
275	Ogawa R	形成外科・ 美容外科	Analysis of the Surgical Treatments of 63 Keloids on the Cartilaginous Part of the Auricle : Effectiveness of the Core Excision Method	Plast Reconstr Surg
276	Yabuno Y	形成外科・ 美容外科	Refractory Leg Ulcers Associated with Klinefelter Syndrome	Journal of Nippon Medical School
277	Kuwahara H	形成外科・ 美容外科	A Case of Obesity Hypoventilation Syndrome with Respiratory Failure that Improved with Abdominoplasty	Journal of Nippon Medical School
278	Akutsu K	心臓血管集中 治療科	Clinical Similarities and Differences between Patients with Acute Type B Aortic Dissection with Communicating vs. Non-Communicating False Lumen : Analysis of 502 Patients from the Tokyo CCU-Network Database	Circ J
279	Amano Y	心臓血管集中 治療科	Magnetic resonance imaging of microvascular obstruction in hypertrophic obstructive cardiomyopathy after percutaneous transluminal septal myocardial ablation	Acta Radiol
280	Nakamura S	心臓血管集中 治療科	Prognostic values of highly sensitive cardiac troponin T and B-type natriuretic peptide for clinical features in hypertrophic obstructive cardiomyopathy : a cross-sectional study	BMJ Open
281	Amano Y	心臓血管集中 治療科	Myocardial fibrosis evaluated by Look-Locker and late gadolinium enhancement magnetic resonance imaging in apical hypertrophic cardiomyopathy : association with ventricular tachyarrhythmia and risk factors	J Magn Reson Imaging

小計 7 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
282	Miyachi H	心臓血管集中治療科	Treatment of visceral malperfusion in acute type B aortic dissection by percutaneous endovascular fenestration using a stent, with additional stenting of the true lumen	J Nippon Med School
283	Tokita Y	心臓血管集中治療科	Usefulness of N-Terminal Pro-Brain Natriuretic Peptide Levels to Predict Success of Weaning from Intra-Aortic Balloon Pumping	Am J Cardiol
284	Ohashi R	病理診断科	Morphological spectrum of renal pathology and its correlation to clinical features in patients with disseminated intravascular coagulation : a study involving a series of 21 autopsy cases	Pathol Int
285	Ohashi R	病理診断科	Downregulation of fibroblast growth factor receptor 2 and its isoforms correlates with a high proliferation rate and poor prognosis in high-grade glioma	Oncol Rep
286	Narita K	病理診断科	Nestin regulates proliferation, migration, invasion and stemness of lung adenocarcinoma	Int J Oncol
287	Takayama R	病理診断科	Expression of lumican in hidroacanthoma simplex and clonal-type seborrheic keratosis as a potent differential diagnostic marker	Am J Dermatopathol
288	Wada R	病理診断科	The Expression of Glucagon-Like Peptide-1 Receptor and Dipeptidyl Peptidase-IV in Neuroendocrine Neoplasms of the Pancreas and Gastrointestinal Tract	Endocr Pathol
289	Yajima N	病理診断科	DNA damage response and its clinicopathological relationship in appendiceal tumors	Int J Colorectal Dis

小計 8 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
290	Higo S	病理診断科	Acute Graft-Versus-Host disease of the kidney in allogeneic rat bone marrow transplantation	PLoS One
291	Omi K	東洋医学科	Inhibition of R5-tropic human immunodeficiency virus type-1 replication in CD4+ natural killer T cells by gamma-delta T lymphocytes	Immunology
292	Matsuhashi T	東洋医学科	A low, non-toxic dose of paclitaxel can prevent dendritic cell-precursors from becoming tolerogenic dendritic cells with impaired functions	Biomed. Res.
293	Takahashi M	東洋医学科	Dichloroacetate induces cell cycle arrest in human glioblastoma cells persistently infected with measles virus : A way for controlling viral persistent infection	Antiviral Res

小計 4 件

合計 293 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文 (任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	宮内 靖史	循環器内科	虚血と不整脈 虚血関連 Purkinje 心室頻拍 および Electrical Storm のアブレーション	心電図
2	中島 育太郎	循環器内科	虚血と不整脈 虚血性心疾患に伴う心室不 整脈に対するデバイス治療	心電図
3	宮本 正章	循環器内科	難治性創傷に対する医療用無菌ウジによる マゴットセラピーの有用性とその展開	生化学
4	本間 博	循環器内科	大動脈弁石灰化と胸部上行大動脈近位部の 硬度上昇：左室拡張能障害と早期慢性腎臓 病との関連について	Jpn J Med Ultrasonics
5	岩崎 雄樹	循環器内科	救急外来におけるフレカイニド中毒の診断 と治療 (コメント)	日本集中治療医 学会雑誌
6	林 洋史	循環器内科	切除不能な心臓腫瘍に関連した心室頻拍を 開胸下凍結凝固により抑制しえた Gorlin 症 候群の 1 例：病理学的見地も踏まえて	心臓
7	三品 雅洋	神経・ 脳血管内科	特集 I. パーキンソニズムの画像 update, パーキンソニズムの PET	神経内科
8	三品 雅洋	神経・ 脳血管内科	特集 神経難病ケアのコペルニクスの転回, 神経難病診療の新たな画像検査を活かす	総合診療
9	上田 雅之	神経・ 脳血管内科	虚血性脳損傷に対する脳保護療法	日医大医会誌
10	上田 雅之	神経・ 脳血管内科	新規脳保護療法：EPA	脳卒中；日本脳卒 中学会機関紙
11	上田 雅之	神経・ 脳血管内科	片頭痛クリニカル・クエスチョンの要点	Mebio
12	上田 雅之	神経・ 脳血管内科	新しい perfusion-diffusion mismatch の臨 床応用	分子脳血管病

小計 12 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
13	永山 寛	神経・ 脳血管内科	進化する Parkinson 病の治療 症状とその 対応 新たなステージへ Parkinson 病と 「うつ」	神経治療学
14	住 祐一郎	腎臓内科	腹膜透析患者におけるダルベポエチンアル ファの有用性	腎と透析別冊 腹膜透析 2014
15	田村 秀人	血液内科	Proteasome inhibitor の新薬	最新医学 別冊
16	田村 秀人	血液内科	自家移植療法：single vs double	日本臨床
17	田村 秀人	血液内科	多発性骨髄腫における SLAM ファミリー分 子の機能とそれらを標的としたキメラ抗原 受容体遺伝子改変 T 細胞免疫療法	血液内科
18	玉井 勇人	血液内科	急性リンパ性白血病の分子機構	臨床血液 特集号
19	脇田 知志	血液内科	急性骨髄性白血病とエピジェネティクス制 御関連遺伝子変異	日本臨床
20	山口 博樹	血液内科	重症再生不良性貧血の治療	血液内科
21	長山 美貴恵	呼吸器内科	特発性肺線維症の急性増悪と肺結核とを同 時発症した 1 例	日本医科大学 医学会雑誌
22	朝山 健太郎	精神神経科	Clozapine による一過性の発熱の経過中に 心筋炎をきたした症例	精神科
23	前田 美穂	小児科	鉄欠乏性貧血 私の処方 2015	小児科臨床
24	植田 高弘	小児科	思春期のスポーツ貧血	小児科
25	林 美雪	小児科	小児食物アレルギー診療 update 指導と治 療・28) 大豆アレルギー	小児科
26	富山 毅	放射線科	フィリップス社 TOF 効果の臨床へのイン パクト	PET journal
27	杉原 史恵	放射線科	血管造影に基づく副腎静脈吻合の解剖学的 特徴	臨床放射線
28	嶺 貴彦	放射線科	出血性上部消化管潰瘍に対する NBCA 塞栓 術 循環への寄与と粘膜治癒の経過	日本腹部救急医 学会雑誌
29	嶺 貴彦	放射線科	【血管腫・血管奇形 2014：診断から IVR・ 治療まで】IVR 各論 四肢骨盤部動静脈奇 形に対する血管内治療	臨床画像

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
30	稲葉 基之	皮膚科	脂腺分化を伴った汗孔癌 (porocarcinoma) の1例	皮膚臨床
31	二宮 里紗	皮膚科	出産後, 薬疹を契機に Sjogren 症候群, 全身性エリテマトーデスが疑われた1例	皮膚臨床
32	篠原 理恵	皮膚科	パルプアルブミンによる魚類アレルギーの2例	皮膚臨床
33	上野 孝	皮膚科	Superficial Acral Fibromyxoma の1例	皮膚臨床
34	木下 侑里	皮膚科	皮疹のコントロールにシクロスポリン抵抗性でエトレチナートが有効であった汎発性膿疱性乾癬の1例	皮膚臨床
35	川原崎 麻以	皮膚科	RS3PE 症候群を伴った成人 T 細胞白血病／リンパ腫の1例	皮膚臨床
36	船坂 陽子	皮膚科	肝斑・老人性色素斑	皮膚臨床
37	大塚 流音	皮膚科	注意欠陥多動性障害を合併した遺伝性体側性色素異常症の1例	日小皮誌
38	東 直行	皮膚科	骨髄性プロトポルフィリン症の1例	日小皮誌
39	金子 綾	皮膚科	5%イミキモドクリーム外用が奏効したと考えられた汗孔角化症の1例	皮膚臨床
40	山本 三幸	皮膚科	カルボシステイン (ムコダイン) による固定薬疹の小児例	日小皮誌
41	船坂 陽子	皮膚科	シミの原因と対処法: 特集 見た目のアンチエイジング update	アンチ・エイジング医学—日本抗加齢医学会雑誌
42	五十嵐 敦之	皮膚科	治療 乾癬におけるウステキマブの使用指針	臨皮
43	荻田 あづさ	皮膚科	成人 Still 病における血清 IL-6, IL-18 値の検討	皮膚臨床
44	加藤 篤衛	皮膚科	あざに対するレーザー治療の基本と実践	日小皮誌
45	尾見 徳弥	皮膚科	美容皮膚科をとりまく問題点と今後の将来性	マルホ皮膚科セミナー内容集
46	平方 敦史	消化器・一般外科	IV 門脈血行異常症を理解するための基礎研究 1 門脈圧亢進症とサイトカイン	HEPATOLOGY PRACTICE
47	勝野 暁	消化器・一般外科	腹腔鏡下尾膵切除術 (Lap-DP) における手術部位の感染例の検討	日本外科感染症学会雑誌

小計 18 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
48	松下 晃	消化器・ 一般外科	VII 膵臓の手術 慢性膵炎・その他 膵仮性 嚢胞に対する腹腔鏡下手術	消化器外科
49	上田 純志	消化器・ 一般外科	難治性および癌性腹水に対する腹腔：静脈 シャントの治療成績	日本門脈圧亢進 症学会雑誌
50	谷合 信彦	消化器・ 一般外科	特集 超高齢者の消化器疾患：その特徴と 治療上の注意 11.超高齢者に対する消化器 外科治療上の問題点	臨牀 消化器内科
51	野村 務	消化器・ 一般外科	臨床医のために：腹壁癒痕ヘルニアに対す るメッシュを用いた腹腔鏡下手術	日本医科大学医 学会雑誌
52	松谷 毅	消化器・ 一般外科	特集：食道破裂，穿孔の診断と治療におけ る戦略と工夫	日本腹部救急医 学会雑誌
53	山岸 杏彌	消化器・ 一般外科	経肛門的減圧管より術前減圧処置を行った 閉塞性大腸癌症例における術後腸管運動の 評価	日本腹部救急医 学会雑誌
54	岡村 律子	内分泌外科	甲状腺腫の穿刺吸引細胞診で髄様癌と診断 された！	JOHNS
55	杉谷 巖	内分泌外科	甲状腺癌に対する最善の治療法を求めて： エビデンス・レベル向上のための方策	日医大医学会誌
56	杉谷 巖	内分泌外科	グレーゾーンの甲状腺乳頭癌に対する甲状 腺切除術式	日本内分泌・甲状 腺外科学会雑誌
57	蛭名 彩	内分泌外科	甲状腺乳頭癌における全摘の適応基準—甲 状腺温存手術（腺葉切除）を積極的に行う 立場から—	Thyroid Cancer Explore
58	森田 明夫	脳神経外科	UCAS Japan の示したものと日本からの情 報発信	Vascular Medicine
59	國保 倫子	脳神経外科	上殿皮神経障害の外科治療の試み	Peripheral Nerve
60	金 景成	脳神経外科	腰椎後方除圧術：よりよい手術成績を得る ためのわれわれの工夫	Jpn J Neurosurg
61	森田 明夫	脳神経外科	Occipital transtentorial approach の基本	Jpn J Neurosurg
62	藤森 大二郎	脳神経外科	症候性脊椎脊髄疾患に合併した足根管症候 群の治療成績	脳神経外科速報
63	藤森 大二郎	脳神経外科	上殿皮神経の外科的治療成績	脊髄外科

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
64	高井 信朗	整形外科・ リウマチ外科	変形性膝関節症	日本臨床 最新 肥満症学
65	高井 信朗	整形外科・ リウマチ外科	MIS 人工膝関節置換術の現状と展望 緒言	臨床整形外科
66	高井 信朗	整形外科・ リウマチ外科	PS 型, CR 型の使い分け	Bone Joint Nerve
67	星川 直哉	整形外科・ リウマチ外科	健常成人に発生した化膿性縫工筋炎・腸骨 筋炎の 1 例	関東整形災害外 科学会雑誌
68	南野 光彦	整形外科・ リウマチ外科	超音波短軸像による正中神経の手根管内 での移動の検討: 手根管症候群例	日本手外科学会 誌
69	南野 光彦	整形外科・ リウマチ外科	上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する骨釘移 植術の治療経験	日本肘関節学会 誌
70	河路 秀巳	整形外科・ リウマチ外科	セメントレス人工股関節全置換術における 大腿骨インプラントの内反挿入の影響の検 討	Hip Joint
71	佐藤 章子	整形外科・ リウマチ外科	単径部巨大腫瘍をきたした人工股関節置換 術後の 2 症例	関東リウマチ
72	友利 裕二	整形外科・ リウマチ外科	経験と考察 小児上腕骨顆上骨折に対する 牽引台を用いた非観血的整復・経皮鋼線固 定術の治療成績	整形外科 (0030-5901)
73	倉品 隆平	女性診療科・ 産科	妊娠高血圧症候群 UPDATE: 妊娠高血圧症 候群とマイクロ RNA	周産期医学
74	関根 仁樹	女性診療科・ 産科	子宮筋腫合併不妊の治療: 現代生殖医療の メインストリーム ART マスターたちの治 療戦略	産婦人科の実際
75	峯 克也	女性診療科・ 産科	海外での卵子提供による妊娠後に流産を来 し, 抗リン脂質抗体陽性が判明した 2 症例 の検討	日本産婦人科学 会東京地方部会 雑誌
76	峯 克也	女性診療科・ 産科	当院における子宮鏡手術について	東京産婦人科医 会誌
77	内山 美穂子	女性診療科・ 産科	子宮内膜異型増殖症を併発した漿液性卵巣 境界悪性腫瘍の 1 例	東京産科婦人科 学会会誌
78	市川 雅男	女性診療科・ 産科	現代 POP 治療のグレーゾーン: 直腸瘤	臨床泌尿器科

小計 15 件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
79	市川 雅男	女性診療科・産科	腹腔鏡下仙骨脛固定術 骨盤臓器脱：戦国時代を生きる	臨床婦人科産科
80	明楽 重人	女性診療科・産科	器質性月経困難症の治療戦略：子宮内膜症・子宮腺筋症・子宮筋腫を中心に	Pharma Medica
81	小野 修一	女性診療科・産科	当院におけるダグラス窩深部子宮内膜症に対する腹腔鏡下手術の系統的アプローチ手順と治療成.	日本エンドメトリオーシス学会会誌
82	市川 雅男	女性診療科・産科	手術手技 女性泌尿器関連の手術 基本手技とコツ 現代 POP 治療のグレーゾーン 直腸瘤 いま,あなたはどのようにして治療していますか?	臨床泌尿器科
83	北野 正剛	女性診療科・産科	内視鏡外科手術に関するアンケート調査：第 12 回集計結果報告	日本内視鏡外科学会雑誌
84	加藤 久美子	女性診療科・産科	第 13 回日本女性骨盤底医学会ディベート (2011 年) からみた骨盤臓器脱の術式選択	日本女性骨盤底医学会誌
85	花岡 正智	女性診療科・産科	1 次施設での新生児蘇生 NCPR 2010 施行の実際	日本周産期・新生児医学会雑誌
86	渡邊 健一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	喉頭癌組織におけるヒストン・タンパク修飾	日医大医学会誌
87	藤田 雅裕	眼科	マイトマイシン C 併用線維柱帯切除術後の晩期合併症に対する有茎弁結膜被覆術の短期成績	日本医科大学医学会雑誌
88	高橋 和久	眼科	Signature Ellips の虹彩色素脱出の予防における Curved Tip の効果	IOL & RS
89	坪光 祥晃	麻酔科・ペインクリニック	感染性心内膜炎に対する術後管理の検討	ICU と CCU
90	中江 竜太	救命救急科	Talk and Deteriorate の経過を呈した頭部外傷患者における D-dimer の検討	日本救急医学会雑誌
91	横堀 将司	救命救急科	重症頭部外傷における脳室内出血の臨床的意義：積極的治療抵抗因子の病態は何か	Neurosurgical Emergency
92	横堀 将司	救命救急科	頭部外傷における Thromboelastography (TEG) を用いた血液凝固モニタリング	バイオメディカル
93	三橋 正典	救命救急科	搬送資器材の選択は病院前心肺停止傷病者の一ヶ月脳機能予後に影響を与えるか? : 東京都のウツタイン搬送データの解析	日本臨床救急医学会雑誌

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
94	横堀 将司	救命救急科	治療薬物と持続脳波モニタリング	Intensivist
95	横堀 将司	救命救急科	シームレスな頭部外傷診療	救急医学
96	小川 令	形成外科・ 美容外科	特集：再建部位別にみたティッシュ・エキ スパンション法のコツ	形成外科
97	小川 令	形成外科・ 美容外科	ケロイド・肥厚性瘢痕における手術適応を 考える	瘢痕・ケロイド 治療研究 ジャーナル
98	小川 令	形成外科・ 美容外科	メカノバイオロジーから見たケロイド・肥 厚性瘢痕研究	瘢痕・ケロイド 治療研究 ジャーナル
99	青木 宏信	形成外科・ 美容外科	皮膚線維腫と肥厚性瘢痕・ケロイドとの関 連性の検討	瘢痕・ケロイド 治療研究 ジャーナル
100	赤石 諭史	形成外科・ 美容外科	有限要素法による縫合法の最適化	瘢痕・ケロイド 治療研究 ジャーナル
101	村上 正洋	形成外科・ 美容外科	牽引筋腱膜縫着術と眼輪筋短縮術を併用し た退行性下眼瞼内反症の長期結果と牽引筋 腱膜縫着術単独手術症例との比較	日本美容外科学 会会報
102	桐生 有紀	形成外科・ 美容外科	ヒアルロン酸の乳房注入によると思われる 後遺症の3例	日本美容外科学 会会報
103	有馬 樹里	形成外科・ 美容外科	ケロイドの重症化と高血圧との関連性の検 討	日形会誌
104	松本 茂	形成外科・ 美容外科	塩基性線維芽細胞増殖因子徐放化ゼラチン シートを用いた難治性皮膚潰瘍治療	再生医療
105	塩村 玲子	心臓血管集中 治療科	腹部大動脈瘤破裂による出血性ショックに 対して IABO カテーテルを挿入し緊急手術 を施行した1例	ICU と CCU

小計 12 件

合計 105 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 研究の種類、審査委員会と窓口、研究内容と審査機関、臨床研究実施の流れ、研究計画書作成ならびに申請時の注意事項、研究計画の事前登録、学外での研究計画書の審査依頼について、相談窓口	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 委員会の構成、審議事項、利益相反マネジメントのプロセス、臨床研究に係る利益相反の審議に関する倫理委員会との関係、利益相反マネジメントの管理の方法等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年18回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年3回
・ 研修の主な内容 ①ヘルシンキ宣言修正版と新しい倫理指針の方向性 ②臨床研修デザインについて	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院の専門研修プログラムは、2年間の必修初期臨床研修の終了後、さらに臨床医学に関する知識と技能を向上させ、より専門的な臨床研修を行うためのものである。各診療科が、それぞれの分野での専門研修について、専門医取得や大学院進学、さらに海外留学等につながる多彩な研修コースを提示している。日本医科大学付属病院、千葉北総病院、武蔵小杉病院、多摩永山病院の四つの付属病院のそれぞれの特色を生かした診療体制の中で、自由にローテーションが可能であり、高度な医療、先進医療の研修を可能にしている。愛と研究心を有し、質の高い医療を求める国民のニーズに応えうる人材の育成を目指す。

2 研修の実績

研修医の人数	144.08人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
清水 渉	循環器内科	部長	29年	
木村和美	神経内科	部長	28年	
鶴岡秀一	腎臓内科	部長	25年	
猪口孝一	血液内科	部長	33年	
坂本長逸	消化器・肝臓内科	部長	40年	
杉原 仁	内分泌代謝内科	部長	31年	
弦間昭彦	呼吸器内科	部長	31年	
安武正弘	老年内科	部長	30年	
大久保善朗	精神科	部長	34年	
伊藤保彦	小児科	部長	31年	
佐伯秀久	皮膚科	部長	23年	
坂本篤裕	麻酔科	部長	31年	
汲田伸一郎	放射線科	部長	28年	
内田英二	消化器外科	部長	38年	
杉谷 巖	内分泌外科	部長	25年	
新田 隆	心臓血管外科	部長	33年	
白田実男	呼吸器外科	部長	20年	
高井信朗	整形外科	部長	34年	
森田明夫	脳神経外科	部長	32年	
高橋 浩	眼科	部長	31年	
大久保公裕	耳鼻いんこう科	部長	30年	
竹下俊行	産婦人科	部長	33年	
近藤幸尋	泌尿器科	部長	29年	
百束比古	形成外科	部長	38年	
横田裕行	救急科	部長	34年	
桑名正隆	リウマチ科	部長	26年	
高橋秀実	漢方内科	部長	34年	
内藤善哉	病理診断科	部長	32年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

[臨床工学技士]

- ・研修の主な内容：ECMOトレーニング
(プライミング、トラブルシューティング、モニタリング)
- ・研修の期間・実施回数：通年、第1回
- ・研修の参加人数：5名程度/回

[放射線技師]

(1)

- ・研修の主な内容：①放射線治療機 Elekta Synergy のサービスモードトレーニング
(測定に必要な治療機側での操作習得)
②測定内容の説明(治療計画装置用の測定内容)
③測定装置に関する確認事項(3D Phantom 設置など)
④測定実習
⑤治療機の線量校正
- ・研修の期間・実施回数：3日間・1回
- ・研修の参加人数：①～⑤ 2名

(2)

- ・研修の主な内容：①治療機, 治療室内の装置構成説明
②操作室の機器構成, 照射手順の説明
③ポータルイメージ, コーンビーム CT を用いた画像照合
④HexaPODevo(6軸天板)を用いた位置補正
- ・研修の期間・実施回数：3日間・1回
- ・研修の参加人数：①～④ 4名

[看護師]

(1)

- ・研修の主な内容：がん看護Ⅱ 3大治療の基礎知識・緩和ケア・ターミナルケア
- ・研修の期間・実施回数：2回
- ・研修の参加人数:101人

(2)

- ・研修の主な内容：看護実践ブラッシュアップ
①退院支援のプロセス・地域との連携調整・在宅の療養生活
②在宅医療実習
③在宅医療実習報告
④退院支援演習
⑤退院支援の評価と今後の課題
- ・研修の期間・実施回数：講義1ヶ月1回 院内演習3週間 院外実習2日
- ・研修の参加人数:①19人 ②20人 ③19人 ④20人 ⑤20人

(3)

・研修の主な内容：スキルアップコース

- ①がん看護（がん患者のニーズアセスメント・コミュニケーション）
- ②リエゾン精神看護ベーシック1、2（精神状態のアセスメント技術等）
- ③リエゾン精神看護アドバンス1、2（うつ状態・不安の強い患者のケア等）
- ④創傷・オストミー・失禁ケア ベーシック（医療機器関連圧迫創の予防とケア）
- ⑤透析看護1～3（慢性腎臓病と腎代替療法、血液透析の実際等、演習）
- ⑥感染管理と感染防止技術ベーシック（標準予防策）
- ⑦感染管理と感染防止技術アドバンス1～2（経路別予防策・流行記における感染予防策等）
- ⑧糖尿病看護1～2（周手術期の血糖コントロール・行動変容、放射線治療と糖尿病看護）
- ⑨摂食・嚥下障害看護1～6（嚥下のメカニズム・適切な食事介助・消化器疾患術後の嚥下障害・加齢に伴う嚥下障害、脳血管障害による嚥下障害）
- ⑩クリティカルケアベーシック（院内急変と救急蘇生・不整脈）
- ⑪クリティカルケアアドバンス1～3（ショックの病態・ACS急性冠障害、開胸・回復術後の周術期管理・疾患別意識障害、急性呼吸不全・鎮痛鎮静・NPPVの理解）
- ⑫クリティカルケアアドバンス演習（呼吸・循環・脳神経・腹部アセスメント・急変対応シミュレーション）
- ⑬呼吸理学療法ベーシック（酸素療法・気道管理・胸腔ドレーン挿入冠者の看護）
- ⑭呼吸理学療法アドバンス（周手術期・急性呼吸不全・慢性呼吸不全のケア）
- ⑮呼吸理学療法演習（呼吸困難時の呼吸介助・体位排痰法）
- ⑯ボディ・メカニクスメカニクス（移乗・腰の挙上・ズボンの着用など）

・研修の期間・実施回数：年間 週1回程度

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容：
- ・研修の期間・実施回数：
- ・研修の参加人数：

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	院長 坂本 篤裕
管理担当者氏名	各部署長

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		電子カルテ内サーバー	電子保存管理 院内持出の運用は無い
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課	ファイル、PCによる保管管理
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	庶務課	
	高度の医療の研修の実績	各部署	
	閲覧実績	庶務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	電子カルテ内サーバー	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	庶務課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	ファイル、PCによる保管管理
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
	十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
	十一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	各号及び	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第九条	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	二十三	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第一項	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME部
	体制の確保の状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME部	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME部	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	院長 坂本 篤裕	
閲覧担当者氏名	庶務課長 樋口 憲二	
閲覧の求めに応じる場所	閲覧室	
閲覧の手続の概要		
閲覧についての書類を受取後、対応		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	4件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 2件
	地方公共団体	延 2件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 医療安全管理に関する基本的考え方2. 医療に係る安全管理の組織に関する基本的事項3. 医療安全管理のための職員研修に関する基本的事項4. 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針5. 医療事故発生時の対応に関する基本方針6. 当院と患者との間の情報の共有に関する基本方針7. 患者からの相談への対応に関する基本方針8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 医療安全管理の指針の見直し、医療安全管理研修の計画、事故防止対策の策定・周知2. 安全管理に関する広報活動3. その他院長から諮問を受けた事項	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">「医療安全への道のり」平成26年6月23日「医療事故調査制度の現在」平成27年2月16日「医療に関する法的問題 -個人情報保護法発展編-」平成26年9月2日	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 医療安全管理集中管理システム (セーフマスター) での管理2. 医療安全ウェブサイト (安全オンデマンド) による情報共有3. 医療安全管理に関する規定 (指針・ガイドライン・マニュアル) の改正・周知4. 医療安全管理の手引きの改正・配布5. リスクマネージャ会議 (月 1 回) における改善方策周知6. 院内リスクアナウンス (安全情報等) の周知確認登録 (安全オンデマンド・電子カルテシステム画面を利用したポータルサイト) 等	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (7) 名 兼任 (6) 名・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 医療安全管理委員会の定期開催 (月 1 回)2. リスクマネージャ会議の定期開催 (月 1 回)3. 個人情報保護推進委員会の定期開催 (月 1 回)4. 医療ガス安全管理委員会の定期開催 (年 1 回)5. 医療安全相互ラウンドの実施6. 日本医療評価機構への参画7. 医療安全管理に関する規定 (指針・ガイドライン・マニュアル) の改正等	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 院内感染対策に関する基本的考え方2) 院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項3) 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針7) その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 感染対策の強化、追加、改善に関する方針・対応策の決定。2) 監視(サーベイランス)データのフィードバックと問題点に関する対応方法の協議・決定。3) 感染防止ガイドライン、指針、マニュアル、細則、要綱等の策定及び改正に関すること。4) 院内研修及び教育活動に関する実施計画の立案、討議、決定。5) 上記1～4に関する周知・徹底、ならびに周知・徹底の方法に関する協議・決定。6) アウトブレイク等院内発生事象に関する報告及び対応方法の協議・決定(臨時会議開催等)。7) 感染制御部、感染制御チームに対する助言、支援。8) 院内感染に関する情報の各部門への提示、情報の院内共有。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容：(全職員対象)</p> <ol style="list-style-type: none">1) 新人職者(研修医、専修医を含む全職種)研修(講義および演習)。2) 院内感染対策研修講演会(全職員を対象として)<ul style="list-style-type: none">・ H26/7/10 HIV感染症・ H26/10(7回)手指衛生手技チェック・ H27/1/14 当院の微生物サーベイランスと感染対策・ H27/3/16 医療現場で考える耐性菌対策3) 部門・職種別研修 <p>①中途採用・異動・復帰者 ②清掃委託および派遣業者 ③臨床工学技士、放射線技師等多職種 ④高度救命救急センター医師 ⑤医局カンファレンスでの感染症報告と感染対策の周</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 薬剤耐性菌医療関連感染防止対策<ul style="list-style-type: none">・ 私立医科大学病院感染対策協議会、管轄保健所等への相談・支援依頼・ 積極的監視培養検査の実施と隔離予防策の徹底・ 耐性菌検出時の情報共有・ 薬剤耐性菌に係る感染防止マニュアル、アウトブレイク対応マニュアル等マニュアルの随時改訂・ 感染対策の周知・徹底に係る電子カルテ、イントラネット、病室前掲示の変更、活用による情報共有・ 感染管理に係る新規器材の採用、変更および運用手順の変更と作成・ 病室等消毒・清掃の体制の整備と運用・ 特定の微生物に係る遺伝子解析の実施2) 標準予防策の徹底<ul style="list-style-type: none">・ 病室、電子カルテカート等への手指消毒薬や個人防護具設置・ 職員への携帯用手指消毒薬携帯・ 部門別マニュアルの整備3) 組織体制<ul style="list-style-type: none">・ 感染管理マネージャーによる研修受講率向上や情報共有と周知、病棟等の感染対策ラウンドの実施	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 2 回
・ 研修の主な内容： 4 月：新入職員、研修医対象（医薬品に係る安全管理全般） 1 月：全職員対象（PMDA の報告などこの一年間の新たな医薬品安全管理上の知見など周知）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 （ 有・無 ） ・ 業務の主な内容： 年 2 回（3 月、9 月）に薬剤部、各病棟外来、医局長、薬事委員に対してその実施状況をチェックリストを用いて確認	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： これまでの取組みに加え、今年度より PMD の RMP をその方策に取り入れた 特に新規薬剤採用審議時に RMP 報告を項目に取り入れ、薬事委員（医師）に意識付けを行っている	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 1 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1) 特定機能病院における定期研修 ＜透析 勉強会＞平成26年7月30日, 9月24日 ＜除細動器 勉強会＞平成26年7月23日, 24日, 29日 ＜補助循環 勉強会＞平成27年2月18日 ＜保育器 勉強会＞平成27年2月18日 他</p> <p>2) 新しい医療機器の導入時の研修 ＜生体情報管理システム SafetyNet勉強会＞平成26年5月22日 ＜MRI対応デバイス INGENIO 勉強会＞平成26年8月14日 ＜経腸栄養ポンプ カンガルーJoeyポンプ 勉強会＞平成26年8月28日 他</p> <p>3) その他必要に応じた研修 ＜麻酔器 勉強会＞平成26年4月25日 ＜電気メス 勉強会＞平成26年4月23日 他</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>1) 除細動器保守点検 平成27年5月, 8月実施 2) 保育器 平成27年4月, 7月実施</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1) シリンジポンプCSP-110において押し子が外れている事象が発生。勢いよく押し子を引き出した事で押し子パイプ固定ネジとフレームが接触し、ネジが緩んだと推測された。接触を防ぐため、Eリングを用いネジとフレーム間の隙間を確保した。</p> <p>2) カンガルーJOEYポンプにおいて、フローエラーアラームが鳴らなかった事象が発生。終業点検において、チェックリストを見直し新たに作成した。</p>	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ・病院ホームページにて情報を発信 (実施している先進医療の掲載等) ・公開市民講座の開催 ・懇話会の開催	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 当院では、総合診療センターを設立し、初診患者、1 - 2次救急患者の診療および医学生・研修医の臨床実習を行っている。外傷は救急診療科、内因性疾患は、総合診療科の医師が担当する。 消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、血液内科、老年内科、消化器外科、形成外科、脳神経外科などから出向した専門医が連携をとりながら診療にあたる。 研修医のみならず、各診療科配属の専門研修医もローテーションして初期診療に対する総合力を養う。 多臓器に障害を有する患者では、総合診療科の医師が複数の診療科との連携をとり、病院総合医として外来・病棟の診療を管理する。	

(様式第8)

番 号
平成 年 月 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 日本医科大学
理事長 赫 彰郎 (印)

日本医科大学附属病院の昨年度の業務報告において提出した年次計画の経過について

標記について、医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の20第6号口及び第7号口の規定に基づき、次のとおり提出します。

記

1 提出した年次計画の項目

1 紹介率・逆紹介率 ②標榜する診療科 3 専門の医師の配置 4 論文発表

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○を付けること。

2 昨年度および今年度の実績

昨年度提出した年次計画書での報告事項 (実績及び予定措置)	今年度の実績及び承認要件を満たしていない場合の理由
歯科の標榜 無 歯科については2015年4月に標榜予定	平成27年4月1日より歯科を標榜

(注) 1 左欄には、昨年度の業務報告において様式第8として報告した事項を記載すること。

2 右欄には、今年度の実績及び、承認要件を満たしていない場合はその理由を記載すること。

3 今後の具体的措置

--

(注) 本年度も承認要件を満たしていない場合、2で記載した事項以外の更なる措置を記載すること。